

### Ⅲ. 卷末資料

## 1. 平成 15 年度に実施した砂防関係調査リスト



平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
国土技術政策総合研究所	地球温暖化に対応した国土保全支援システムに関する研究(地球温暖化に対応した災害リスク軽減対策に関する研究)	H14～16		地球温暖化による降雨特性・土砂災害発生特性変化シナリオの作成	温暖化にともなう土砂災害発生の変化を予測し、それに対応する防止・軽減策を検討する必要がある。	降雨の質的・量的変化予測シナリオの確認	土砂災害リスクの評価手法	土砂災害リスク
国土技術政策総合研究所	地球規模水循環変動に起因する水管理技術に関する研究	H15～17		土砂流出モデル等の開発	降水量の予測情報を土砂災害発生予測に活用することが可能となる。	降水量情報を用いた土砂災害発生予測モデルの開発	降水量予測、土砂災害発生予測モデルの開発	発生予測モデル
国土技術政策総合研究所	リアルタイム災害情報システムの開発に関する研究	H14～17		リアルタイム火山ハザードマップ構築コンセプトの整理	迅速な避難活動等に対応するために、火山活動の変化に応じてハザードマップを作成する環境を整備する必要がある。	火山リアルタイムハザードマップシステム(リアルタイムアラーム・リアルタイムアラート)の作成仕様を作成	火山、土砂災害発生予測モデルの開発	GIS、ハザードマップ
国土技術政策総合研究所	土砂系の総合的な土砂管理に関する調査	H11～17		健全性評価手法の開発	土砂系で発生している土砂移動に係る問題を解決し、合理的な土砂管理計画を作成する必要がある。	健全性評価手法の開発	総合的な土砂管理マニュアルの開発	総合的な土砂管理、健全性評価
国土技術政策総合研究所	土砂系における土砂モニタリング手法の開発に関する調査	H11～15		流速30m/s以上の条件下における土砂移動モニタリングの適用範囲を明らかにする	土砂系で発生している土砂移動に係る問題を解決し、合理的な土砂管理計画を作成する必要がある。	観測機器の選定・フローの作成、モニタリングガイドラインの改訂	土砂系	土砂移動モニタリング
国土技術政策総合研究所	土砂系における土砂生産・流出土砂の予測に関する調査	H13～17	安倍川	土砂移動モニタリングの観測データを用いた、土砂移動の予測精度を比較検証する	土砂系で発生している土砂移動に係る問題を解決し、合理的な土砂管理計画を作成する必要がある。	安倍川山地流域における土砂移動モニタリング結果を精度良く再現できる土砂の予測手法の開発	土砂系	土砂移動モニタリング
国土技術政策総合研究所	連続する透過型砂防ダム・透堤の機能評価に関する調査(試験)	H13～15		湾曲などといった地形条件が計画流出断面の形状(スリット幅、スリット本数等)が流量係数に及ぼす影響を明らかにする	土砂系で発生している土砂移動に係る問題を解決し、合理的な土砂管理計画を作成する必要がある。	地形形状・スリット形状に応じた流量係数の設定方法	透過型砂防堤堰	ガイドライン
国土技術政策総合研究所	土石流の浸透範囲と家屋の被災範囲の推定手法の開発に関する調査	H14～16		土石流災害に関する資料の収集と整理・解析に基づく土砂災害特別警戒区域の推定手法の開発	より災害範囲に近い土石流による家屋被災範囲(土砂災害特別警戒区域)を設定する必要がある。	湾曲における落下値から土石流の水量を推定する手法を開発した。平成15年度に発生した災害をとりまわって、データを蓄積した。	土石流による家屋被災範囲の推定手法の開発	ソフト対策

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
国土技術政策総合研究所	土砂災害発生箇所の実態調査	H14～18		平成15年度の調査の種別(平成15年度以前から行っている継続のものも含む) 土砂災害発生箇所調査結果データベース化のためのデータベースシステムの改良 土砂災害発生危険度の検証	データの出力の効率化を図るため、被災箇所に実態に関するデータベースの電子化、また、H14年災害発生危険度の精度検証	土砂災害発生危険度の精度検証	土砂災害発生危険度の精度検証	土砂災害発生危険度の精度検証	被災実態
国土技術政策総合研究所	土砂災害発生危険度の精度検証	H15～16		土砂災害発生危険度の精度検証	土砂災害発生危険度の精度検証	土砂災害発生危険度の精度検証	土砂災害発生危険度の精度検証	土砂災害発生危険度の精度検証	土砂災害発生危険度の精度検証
国土技術政策総合研究所	地震動による斜面崩壊危険度の精度検証	H14～15	兵庫県六甲山系、神戸島、鹿児島県南西部	地震動による斜面崩壊危険度の精度検証	判別関数を用いた斜面崩壊危険度の精度検証	地震動による斜面崩壊危険度の精度検証	判別関数を用いた斜面崩壊危険度の精度検証	判別関数を用いた斜面崩壊危険度の精度検証	地震動
国土技術政策総合研究所	期土の衝突に対する対策の合理的設計手法に関する調査	H12～18	静岡県長岡崎など	急傾斜地の斜面対策手法の高度化	① 期土の衝突に関する調査 ② 期土の衝突に関する調査 ③ 期土の衝突に関する調査	急傾斜地の斜面対策手法の高度化	平成15年度に発生した期土の衝突に関する調査	期土の衝突に関する調査	急傾斜地崩壊
国土技術政策総合研究所	急傾斜地対策施設設計手法に関する調査	H15～17	新潟県湯之谷村	急傾斜地対策施設設計手法の高度化	① レーザースキャンによる地形データの取得 ② ①の結果を用いた急傾斜地の地形の影響に関する調査	急傾斜地対策施設設計手法の高度化	地形・斜面規模を考慮した急傾斜地対策施設設計手法の確立	地形・斜面規模を考慮した急傾斜地対策施設設計手法の確立	レーザースキャン
国土技術政策総合研究所	丘陵地に発達した都市の防災計画策定に関する調査	H14～15		丘陵地に発達した都市の自然災害に対する脆弱性の評価と対策手法の検討	丘陵地に発達した都市の脆弱性の評価と対策手法の検討	丘陵地に発達した都市の脆弱性の評価と対策手法の検討	丘陵地に発達した都市の脆弱性の評価と対策手法の検討	丘陵地に発達した都市の脆弱性の評価と対策手法の検討	脆弱性
国土技術政策総合研究所	砂防事業における自然再生評価手法に関する調査	H15～		砂防の環境調査の結果を用い、既存の自然再生評価手法の適用可能性を検討	砂防の環境調査の結果を用い、既存の自然再生評価手法の適用可能性を検討	砂防の環境調査の結果を用い、既存の自然再生評価手法の適用可能性を検討	砂防の環境調査の結果を用い、既存の自然再生評価手法の適用可能性を検討	砂防の環境調査の結果を用い、既存の自然再生評価手法の適用可能性を検討	環境調査
国土技術政策総合研究所	観測データの少ない流域における土砂移動予測手法の開発	H14～16		観測データの少ない流域における土砂移動予測手法の開発	観測データの少ない流域における土砂移動予測手法の開発	観測データの少ない流域における土砂移動予測手法の開発	観測データの少ない流域における土砂移動予測手法の開発	観測データの少ない流域における土砂移動予測手法の開発	観測データ
国土技術政策総合研究所	地球温暖化に対応した国土保全支援システムに関する調査	H14～16		地球温暖化に対応した国土保全支援システムに関する調査	地球温暖化に対応した国土保全支援システムに関する調査	地球温暖化に対応した国土保全支援システムに関する調査	地球温暖化に対応した国土保全支援システムに関する調査	地球温暖化に対応した国土保全支援システムに関する調査	地球温暖化
国土技術政策総合研究所	火山地域における泥流災害シミュレーションの精度向上に関する調査	H14～17	全国	火山地域における泥流災害シミュレーションの精度向上に関する調査	火山地域における泥流災害シミュレーションの精度向上に関する調査	火山地域における泥流災害シミュレーションの精度向上に関する調査	火山地域における泥流災害シミュレーションの精度向上に関する調査	火山地域における泥流災害シミュレーションの精度向上に関する調査	泥流災害シミュレーション

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
(独)土木研究所	土砂管理G 火山、土石流T	H13～17	全国および 東京都三宅島	降灰の影響による流域の降雨流出、土石流発生特性の予測可能な土砂量推定手法の検討	現地観測	火山噴火時は噴火活動の推移に応じて降灰範囲や厚さなどが変化する。この変化に対応した土石流発生危険度および予測精度の向上に関する研究が必要である。	①三宅島における現地観測・調査を実施し、火山噴出特性をおける降雨流出、土砂流出特性を把握した。②新規火山噴出斜面上における浸透能特性を定性的に把握した。	火山活動の推移に伴う泥流発生危険度評価と規模の予測手法の提案	火山砂防 土石流 水文
(独)土木研究所	土砂管理G 火山、土石流T	H15～17	全国及び沖縄	調査等を活用した調査対策の効果と現地への適用手法の検討	室内調査	沖繩の赤土砂流出流出のメカニズムの解明が確認でき、向土質が確認された。向土質の異なる土壌への適用性を検討する必要がある。	ワラバガス、無混入の試料における噴頭の繁茂状況を比較したところ、ワラガも噴頭の繁茂が著しく向上する現象が確認された。また、噴頭の火山灰に對しては一定の表面侵食抑制効果が認められた。	調査等を活用した調査対策手法の提案	微細土砂対策工 室内侵食実験 効果評価
(独)土木研究所	土砂管理G 火山、土石流T	H15～16	鹿児島県 鹿野、高野、長野、北安藝郡小谷村	振動式土石流センサーのトリガー設定のための簡易な現地較正試験手法の検討	現地調査、現地観測	振動式土石流センサーはトリガーレベル設定が難しいため、その普及が進んでいない現状のため、簡便で一般的な同センサーのトリガー設定手法が求められている。	現地で想定される土石流の流量から、センサー設置候補地に伝達する振動の大きさを算出する換算式を考案した。地震観測を利用した土石流後知センサー設置方式の試行(試行案)を算出した。	トリガー設定のための現地較正試験手法の提案及びトリガー設定手法の提案	土砂地盤 振動センサー
(独)土木研究所	土砂管理G 火山、土石流T	H15～19	全国及び長野県宇原川	危険箇所毎の特性を把握したより高精度の土石流発生予測手法の開発	現地調査、現地観測	土石流発生防止には噴頭の警戒避難が重要であるが、空振り率が高い。したがって、高精度の土石流発生予測手法の開発が必要である。	既述文観測調査を実施すると共に、長野県宇原川において現地流出観測を実施し、観測データを待たせた。	地質の異なる流域における土石流発生予測のための提案	地質 流出特性 実効雨量
(独)土木研究所	土砂管理G 火山、土石流T	H15～17	全国	階段地形上における汎用性の高い土石流発生範囲推定手法の検討	文献整理、収集	宅地、耕作地等階段状となった地形上において、土石流の氾濫・堆積過程は十分に解明されているとは言いえず、氾濫範囲を精度よく推定するのは困難となっている。	全国的な階段地形上における土石流氾濫・堆積の事例の収集を行い、29事例について土石流のタイプ、氾濫幅等から階段地形の形状、土質、地形状況(階段の段数、平均平坦度等)と土石流氾濫堆積の特性を整理した。	階段地形上における土石流氾濫・堆積の形状・規模の推定手法の提案	階段地形 土石流氾濫範囲
(独)土木研究所	土砂管理G 火山、土石流T	H14～17		高時域計測・振動計測による地すべり岩盤斜面の不安定ブロックの抽出手法の検討	現地計測及び解析	岩盤斜面の不安定ブロック抽出手法の確立。	岩盤斜面調査	岩盤斜面	岩盤斜面 常時観測
(独)土木研究所	土砂管理G 火山、土石流T	H15～18		高精度GPSによる地すべり変位の高精度計測技術の開発や、複数地点の変位計測結果から地すべり面形状を推定して変位傾斜(体積、すべり面深さ等)を迅速に把握する手法の開発	現地計測及び解析	GPSによる変位計測で地すべり変位及びその規模を早期に把握することが重要	設置対象として比較データが取得可能な地すべりを選定し、計測点配置の概略検討を行った。	切土斜面の地すべり変位の早期把握	GPS測量
(独)土木研究所	土砂管理G 火山、土石流T	H14～17		アンカー荷重計と光ファイバー情報提供手法の組み合わせによるアンカー工の提案	FEM解析による感度分析	アンカー荷重計結果による地すべりモニタリング手法及びアンカー工の設計の高度化	アンカー工の設計	アンカー工の設計	アンカー工 FEM
(独)土木研究所	土砂管理G 火山、土石流T	H15～16		地すべり抑制杭の形式の選定手法の提案。3次元応力解析法を用いた地すべり抑制杭の設計手法の提案	FEM解析による感度分析	地すべり土壌の変形係数と杭の曲げ剛性を考慮した杭工の設計の高度化	地すべり抑制杭の設計	地すべり抑制杭工の設計	地すべり 杭工 FEM
(独)土木研究所	土砂管理G 火山、土石流T	H15～16		観測データ整理による降雨と地すべり活動との関係検討	資料整理	警戒避難態勢の充実	地区ごとに地盤変位件数等を集計することで、降雨と危険度の関係が示された。	降雨による地すべり危険度評価	警戒避難

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
(独)土木研究所	土砂管理研究G地すべり	H15～18		観測データ整理による滑落時の空み量および実効雨量の実態調査	資料整理	地下水排除工の効果評価	一部の箇所を対象工事の追加前には実効雨量と移動量の間に相関性が認められた。	地下水排除工の計画規模を逐次修正する手法の検討	地下水排除計画
(独)土木研究所	土砂管理研究G地すべり	H15～17		ボーリング調査、現場透水試験および間隙水圧観測	現場計測	湛水前の貯水池斜面安定度評価	調査地区で現場透水係数値を用いた地すべり計算が可能であることが示された。	湛水前の斜面における現場試験手法の検討	貯水池周辺斜面
(独)土木研究所	土砂管理研究G地すべり	H14～16		既往災害の統計的解析から地すべりの移動特性と発生場条件の関係を検討	収集した地すべり事例に対する多変量解析	地すべりの移動特性を事前に予測し、それに応じた工法対策につなげることを求める	すべり面勾配と下方斜面長/地すべり長さの2変数が、大変位地すべりかどうかの判別に寄与している。	地すべり災害の被害範囲の予測	多変量解析
(独)土木研究所	土砂管理研究G地すべり	H15～17		国土数値情報から地すべり地帯を抽出する手法の検討	地すべり地帯を抽出する手法の検討	地すべりの危険箇所、危険範囲を予測して工法対策につなげることを求める	10ha以上の規模の地すべり地の滑動経路及び頭部を一新抽出できた。	ハザードマップの整備等	国土数値情報
(独)土木研究所	土砂管理研究G地すべり	H15～16		広範囲にわたる変位検出が可能で、安価な光ファイバセンサの開発	基礎実験、検出精度の検証、長期計測の影響評価試験	明確な変位の現れない末端の地帯も含まれた広範囲の地帯の変位を検出できる安価なセンサが求められた。	圧縮引張の両方向の変位を検出することが可能で、その精度は地すべり変位で2～3mm程度であった。	広範囲の地表面変位計測	光ファイバ
(独)土木研究所	新潟試験所	H14～17	北陸地方	地すべり地帯の強度低下機構の解明	化学分析および線解析を用いた地すべり地帯の成分分析結果による強度低下機構の検討	地すべり発生危険度を推定するための	花立地すべりにおける地すべり地帯の強度低下機構の解明が明らかになった。	第三紀地層地すべりにおける発生危険度の推定及び地すべり対策等に活用される	強度低下機構
(独)土木研究所	新潟試験所	H12～15	北陸地方	地表水・地下水排除施設の老朽化の実態把握と施設の管理手法の提案	地すべり現場における実態調査とその結果をもとにした施設管理手法の検討	地下水排除工の機能低下を防止するため	地表水・地下水排除施設の管理手法を提案した	地表水・地下水排除施設の維持管理	維持管理
(独)土木研究所	新潟試験所	H14～17	新潟県沖見	光ファイバセンサを用いた地すべり地帯のモニタリング調査	沖見地すべり試験地帯における光ファイバセンサ現地試験とモニタリング調査	地すべり調査の円滑化のため	大いずみ及び圧縮ひずみが観測できる光ファイバセンサを考案し、基礎データを得た	光ファイバセンサを地すべり調査に活用する	光ファイバセンサ
(独)土木研究所	新潟試験所	H14～16	新潟県赤崎	地下水流動状況調査法の精度向上	地下水流動状況調査機器の開発	地すべり地帯の地下水排除施設設計のため	ボーリング掘削時の排水量に着目した地下水換層法(排水量換層)の現地試験を実施。調査法の有効性を示した	地すべり防止事業に活用する	地下水調査
(独)土木研究所	新潟試験所	H14～17	新潟県沖見、石川、長野	光ファイバセンサを用いた地すべり地帯のモニタリング調査	室内試験による光ファイバセンサの開発	地すべり地帯における地すべり発生時のモニタリング調査のため	甚の助谷地すべりに適用した光ファイバセンサを考案した	甚の助谷地すべりに活用する	光ファイバセンサ
(独)土木研究所	新潟試験所	H15～18	新潟県長野	雪崩の原因となる脆弱な積雪層の形成条件と積雪安定度変化の解明	気象観測、雪崩検知による雪崩発生時の気象記録収集、積雪断面観測による脆弱層の抽出	雪崩の発生原因を解明し、脆弱層の形成条件と積雪安定度変化の解明	・雪崩の原因となる脆弱な積雪層の形成条件と積雪安定度変化の解明 ・雪崩発生時の気象・積雪条件の解明による雪崩発生時期予測手法の開発	表層雪崩	積雪安定度
(独)土木研究所	新潟試験所	H15～18	新潟県長野	雪崩発生要因の高精度依存性と発生予測に関する研究	雪崩発生区を含む積雪層の構造変化の追跡	現在でも不明である雪崩発生原因の高精度依存性と積雪層の構造変化の追跡	・温暖積雪帯では積雪深は大きく異なるが構造は類似していた ・寒冷積雪帯ではこしもざらめ層が積雪表面の温度勾配により形成される気象条件を有していた	雪崩発生区における積雪状況推定手法の検討	積雪構造

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のもの含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
(独)土木研究所 新潟試験所	雪崩予防の高度化と抑制効果に関する調査	H15 11/17	1.新潟県(構造物関係)・新潟・長野・新潟・長野(樹林関係)	・新雪崩予測施設(約直型)雪崩予測網にかかると雪崩の現況・樹林関係(約1.5km)の調査 ・樹木の生長・雪崩発生抑制効果の現地調査	・多雪地における雪崩予測網にかかると雪崩の現況・樹林関係(約1.5km)の調査 ・樹木の生長・雪崩発生抑制効果の現地調査	・多雪地における雪崩予測網にかかると雪崩の現況・樹林関係(約1.5km)の調査 ・樹木の生長・雪崩発生抑制効果の現地調査	・積雪深の大きい積雪の雪崩発生抑制効果の調査 ・積雪深の大きい積雪の雪崩発生抑制効果の調査	・多雪地における雪崩予測網にかかると雪崩の現況・樹林関係(約1.5km)の調査 ・樹木の生長・雪崩発生抑制効果の現地調査	積雪密度 到達距離 見通し角
(独)土木研究所 新潟試験所	映像による雪崩動態観測	H8 ~	新潟、長野	・映像観測を主とした雪崩動態観測を継続した	・映像観測による雪崩動態観測 ・雪崩発生抑制効果の現地調査	・統計的予測手法検討のため、映像観測による雪崩動態観測の継続 ・雪崩発生抑制効果の現地調査	・大規模積雪雪崩発生抑制効果の調査 ・積雪深の大きい積雪の雪崩発生抑制効果の調査	・雪崩動態観測による雪崩発生抑制効果の調査 ・積雪深の大きい積雪の雪崩発生抑制効果の調査	雪崩映像 雪崩予測工 雪崩密度
(独)土木研究所 新潟試験所	雪崩総合観測システムによる雪崩観測	H13 ~	新潟県能代市 白馬村八幡尾	・雪崩総合観測システムによる雪崩観測を開始した	・雪崩総合観測システムによる雪崩観測 ・雪崩発生抑制効果の現地調査	・雪崩総合観測システムによる雪崩観測 ・雪崩発生抑制効果の現地調査	・雪崩総合観測システムによる雪崩観測 ・雪崩発生抑制効果の現地調査	・雪崩総合観測システムによる雪崩観測 ・雪崩発生抑制効果の現地調査	雪崩総合観測 雪崩動態 雪崩密度
(独)土木研究所 新潟試験所	積雪に起因する土砂生産現象に関する調査	H12 ~	新潟県津南町・長野県栄村	・積雪・非積雪期の積雪動態観測を開始した	・積雪・非積雪期の積雪動態観測 ・雪崩発生抑制効果の現地調査	・積雪・非積雪期の積雪動態観測 ・雪崩発生抑制効果の現地調査	・積雪・非積雪期の積雪動態観測 ・雪崩発生抑制効果の現地調査	・積雪・非積雪期の積雪動態観測 ・雪崩発生抑制効果の現地調査	積雪グラウンド 河畔林倒伏
(独)北海道開発局 土木研究所	平成15年度砂防川洪水による緊急流木調査	H15	砂防川河口 ~KP333 支川網平川 34.7km	平成15年8月台風10号による砂防川に伴った洪水による緊急流木の堆積状況等の現地調査	現地踏査、測定 現地踏査	河道内には堆積、あるいは河道内から流失した樹木の河性、形態、地形等を明らかにし、河道内樹木の維持管理、河道計画に反映させる	河道内樹木による流木の捕獲効果を確認、ダム湖による流木捕獲効果も大きい	今後の河道管理への応用	河畔林倒伏
(独)北海道開発局 土木研究所	網平川外積堆地変遷調査業務	H15	一級河川砂防川水系	出水直後の航空垂直写真より積堆地踏査	積堆地踏査	流水、土砂災害の要因把握	積堆地踏査	積堆地踏査	積堆地踏査
旭川開発建設部	環境調査	H4 ~	北海道石狩川上流川口 上流川口 ンベン川	植物・魚類・鳥類・哺乳類等、昆虫類、両生類、は虫類	代表地点を選定し、動植物を調査	事業予定地における生物の生息状況・棲息環境の把握	当積堆地における動植物の棲息状況を把握できた	積堆地踏査	積堆地踏査
旭川開発建設部	土石流発生基準雨量調査	H6 ~	北海道石狩川上流黒岳沢川	降雨による深床変動調査	降雨量と土石流発生関係の調査	降雨量と土石流発生関係の把握	降雨量と土石流発生関係の把握	降雨量と土石流発生関係の把握	積堆地踏査
旭川開発建設部	土石流発生に関する調査	H7 ~	北海道石狩川上流黒岳沢川	流量、浮遊・掃流・流砂等の調査	出水時における水文、浮遊・掃流・流砂等の調査	流域内の土石移動量の把握	流域内の土石移動量の把握	流域内の土石移動量の把握	積堆地踏査
石狩川開発建設部	豊平川直轄砂防区域航空レーザ測量業務	H15	豊平川直轄砂防区域	航空レーザ測量による3次元地形データ取得	航空レーザ測量	地形データ精度向上のため	地形データ精度向上のため	地形データ精度向上のため	積堆地踏査
北海道開発局	豊平川直轄砂防区域水と線の溪流づくり調査業務	H14 ~	薄別川	薄別川における水生生物および植物の生物相調査	生物調査 物理調査	漂流環境に配慮した砂防事業を進めるための基礎調査	漂流環境に配慮した砂防事業を進めるための基礎調査	漂流環境に配慮した砂防事業を進めるための基礎調査	積堆地踏査



平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
北海道開発局	六の川自然環境調査業務	H13～	六の川	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む) 砂防施設設置予定箇所における漂流環境調査	生物調査 物理調査	砂防施設設置による自然環境への影響把握	砂防施設設置前の生物発生状況の把握	漂流環境に配慮した砂防施設検討の基礎資料	環境砂防
北海道開発局	豊平川新砂防計画検討業務	H12～	豊平川流域	計画諸元等の設定 土砂処理方針の検討 土砂移動モニタリング計画の検討	1次元河床変動計算 物理調査	実際の土砂移動現象を表現した砂防基本計画の策定	計画諸元、土砂処理方針の設定 モニタリング計画(案)の作成	砂防基本計画の策定	砂防計画
北海道開発局	薄別川設計画検討業務	H15	薄別川	過去に施工された多自然型砂防施設の事後評価	1次元河床変動計算 2次元河床変動計算	定山渓温泉街への土砂災害対策	想定被害の把握 施設配置計画(案)の作成	砂防事業実施のための整備計画策定	砂防計画
北海道開発局	豊平川流域漂流環境整備方針検討業務	H14～	豊平川直轄砂防区域	過去に施工された多自然型砂防施設の事後評価	現地調査	砂防施設整備における自然環境回復条件の整理および問題点の抽出	環境回復要因の把握 施設配置による問題点と改良方法の検討	豊平川の漂流環境のあるべき姿を指摘し、砂防施設整備計画へ反映	砂防計画 環境砂防
北海道開発局	豊平川上流域土石流監視システム精度向上検討業務	H11～	豊平川直轄砂防区域	超短時間降雨予測システムの精度向上検討	レーダーデータ検証 雨量計最適配置検討	超短時間降雨予測システムの精度向上のため	開発局レーダーと気象庁レーダーの特性把握 雨量計配置計画(案)の作成	降雨予測に最適なレーダーデータの導入 雨量観測所の設置	降雨予測 警戒避難
北海道開発局	礼内川新砂防基本計画検討	H13	礼内川 戸内別川 岩内川	生産土砂分佈、土砂移動実績調査結果を用いた土砂生産・流出解析手法の検討	現地調査 数値解析	流砂系の総合的な土砂管理方針を検討する	生産土砂量及び短絡・中期出水による土砂流出予測	新砂防基本計画	新砂防計画
北海道開発局	樽前山無人化施工実施計画検討	H14	樽前山直轄区域	平成14年度から継続	計画規模の噴火パターンの緊急対策工の内容を検討した	早期復旧と工事の安全確保のため	無人化施工の実施計画(案)作成	現象・規模による無人化施工の実施	火山砂防
北海道開発局	苫小牧川遊砂地後検討会運営	H13	苫小牧川流域	平成13年度から継続	有識者・地域住民・行政等による検討会を開催した	苫小牧川の湿地は、施工に際して自然環境に配慮する必要があるため	砂防施設設置に伴う自然環境への配慮・留意事項の抽出をした	砂防施設設置のための詳細設計	砂防事業
東北地整	角川砂防基本計画及び整備計画検討業務	H11～15	山形県 角川	新砂防基本計画および施設配置計画(案)の検討	計画対象現象・計画諸元等の立案 調査結果を加え、立地相関および課題の明確化を行った。さらに、整備計画について整備目標を検討	国民に対する説明責任を果たすための新砂防基本計画策定のため、特に対象現象や計画諸元に対しては明確化する必要があった。	砂防基本計画を住民に説明するための資料作成、施設配置計画(案)の作成。	砂防事業の推進	新砂防基本計画
東北地整	黒淵地すべり外検討業務	H11～15	山形県黒淵地区	黒淵地区を事例とした、直轄地すべり防止工事の完了検討	既存調査資料の収集・整理、優先順位を考慮した調査計画の検討。経済効果評価を実施。	地すべり防止のための管理基準。	最終的な直轄地すべり防止工事の完了の目安(案)。	地すべり防止工事の完了判定。	地すべり 概成
東北地整	地下水観測手法と地すべりの長期安定性評価検討業務	H12～	全国の地すべり地	地すべりの長期安定性の評価に関する管理基準の検討。	地下水観測・解析手法を考慮した調査計画の検討。経済効果評価を実施。	地すべり防止のための管理基準。	地下水観測手法、地下水調査解析における現状と問題点の抽出。	地すべりの長期安定性の評価指標。	地すべり 地すべり観測
東北地整	阿武隈川水系新砂防基本計画検討業務	H12～15	荒川 須川 松川	対象流域における計画諸元の設定、土砂処理方針の検討、施設整備方針の検討。	既存資料解析 数値解析	総合土砂管理計画の策定に必須の検討項目である。	新砂防基本計画における中間的とりまとめ。	新砂防基本計画の策定	流砂系 土砂管理
東北地整	土砂災害警戒区域基礎調査業務	H14～15	荒川 須川 松川	3次元元盛地図データの作成	既往測量成果より3次元化	危険の恐れのある土地の区域設定のための調査	3次元元盛地図データの作成	「土砂災害防止法」に伴う、土砂災害防止のための資料	土砂法 土砂管理
東北地整	砂防履歴施設改良影響調査	H15～	荒川	施設コンクリート環境のスリット化による影響調査	河床変動計算をもとに周辺環境へ与える影響を予測	既存施設のスリット化による周辺環境への影響を把握する必要がある	周辺環境に与える影響の予測とその対応策	砂防履歴のスリット化による影響予測の基礎資料	砂防構造物

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査区域	調査期間	調査名	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
東北地整	岩手河川 国道	H13～	若手山周辺環境調査	平成15年度の調査の種別(平成15年度以前から行っている継続のものも含む) 砂防施設配置を計画している 渓流における稀少猛禽類の生息分布状況・繁殖状況調査	砂防事業実施にあたり、稀少猛禽類の生息状況・繁殖状況を把握する。	各稀少猛禽類の行動圏・営巣地を把握	稀少猛禽類に配慮した砂防事業実施のための基礎資料	稀少猛禽類 共生
東北地整	岩手河川 国道	H13～	自然環境モニタリング調査	経年変化調査 多様性調査	砂防施設を設置することに よる自然環境の経年変化と 施設周辺の多様性を把握 する。	各項目について調査票及び 確認位置図を作成	自然環境に配慮した砂防事業実施のための基礎資料	自然環境
東北地整	岩手河川 国道	H13～	八幡平火山基本計画調査	航空レーザー計測機 地形解析 国産噴火 調査 防災特性調査 防災対策検討のための噴火履歴、防災特性を調査	火山噴火に伴う新たな火口・ 新層地形を調査するため航空 レーザー計測機の実施及び火山 防災対策検討のための噴火履歴、防災特性を調査	赤色立体地図及び土砂移動実績 図作成 想定する噴火規模及び 現象の設定	火山防災対策の必要性を 把握	火山砂防
東北地整	岩手河川 国道	H14～	新砂防基本計画検討	モデル流域を対象に計画シナ リオを設定し計画諸元・土砂処 理方針・施設配置計画につい て検討	対象現象を明確にした新砂 防基本計画の立案を行う。	モデル流域における計画諸元の 検討、土砂処理方針、施設配置 計画検討	新砂防基本計画の策定	砂防計画
東北地整	湯沢河川 国道	H13～	郷しの渓流整備計画 検討	1種し(福祉)に着目した渓流 活用、整備の在り方の検討	渓流を福祉、特に郷しに着 目した活用方策について検討 し「福祉の川づくり」を進 める。	渓流の渓流づくり基本理念、 整備方針の作成(懇談会に よる提言)	郷しの渓流づくり基本理念、 整備方針の作成(懇談会に よる提言)	砂防環境
東北地整	湯沢河川 国道	H11～	貴重鳥類調査	現地観察 有識者による 現地検討会	貴重鳥類生息、行動の把握	生息域、行動圏及び営巣地の把握 を行う。	砂防事業による環境影響把握 を行う。	貴重鳥類
東北地整	湯沢河川 国道	H13～	八幡平山系砂防基本 計画検討	既存資料を用いた土砂生産、 流出、影響の検討及び砂防計 画対象降雨規模の検討	対象現象を明確にした新砂 防計画の立案を行う。	短期における計画規模の出水に よる土砂生産、流出、影響の把握 を行う。	新砂防基本計画の策定	砂防計画
東北地整	湯沢河川 国道	H15	魚道遊上調査	砂防環境に付帯する魚道の機能 性の調査検討	砂防環境に付帯する魚道の機能 性の調査検討	取捨魚道は十分に機能していた。	砂防事業で魚道整備を行う ための基礎資料	環境砂防
関東地整	利根川水系	H15	管内魚介類・低生物調査業務	資料収集、聞き取り 調査を基に各生物の 分布状況を把握する ため、現地調査を実施 した。	自然環境の保全措置等に 必須なデータ	調査地点に生息する魚介類・低 生物を調査し、渓流環境を把握 する。	環境に配慮した砂防施設設計 のための基礎資料	環境調査
関東地整	利根川水系	H13～	根利川環境調査業務	現地調査 ヒアリング調査	自然環境の保全措置等に 必須なデータ	多様性調査による生物種の把握	経年変化調査 種の特定	環境砂防
関東地整	利根川水系	H14～	榛名川環境調査業務	既往資料収集整理 現地調査 ヒアリング調査	自然環境の保全措置等に 必須なデータ	多様性調査による生物種の把握	経年変化調査 種の特定	環境砂防
関東地整	利根川水系	H14～	榛名山麓砂防施設 調査業務	資料収集、聞き取り 調査を行い、併せて 施設の現況を把握 するため、現地調査 を実施した	有形文化財の登録に向け た基礎資料とする	榛名山麓における砂防施設の現 況、今後の保全対策の検討を 行った	有形文化財の登録に使用 すると共に、広報活動に活用 する	砂防事業、 歴史、 子・レイク
関東地整	利根川水系	H14～	浅間山火山対策検討業務	ハード対策の検討、 ソフト対策の検討、 新たな手法によるハ ードマップの検討 噴火時の防砂体 制検討	浅間山火山対策事業の基 礎資料とするために必須と なる	ハード対策の方針、ハードマップ の改訂及び活用方法、火山監 視システム構築方針、防災拠点 について整理	浅間山火山対策事業への 反映	火山対策

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
関東地整	利根川水系	H13～	群馬県長野県	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む) 浅間山火山対策における噴火・土砂流出現象・対策時期等を動員した砂防指定地の指定のあり方を検討するための資料	既存資料収集整理 総シミュレーションにより過去の土砂移動現象の分析、計画現象、計画基準点、補助基準点、評価点、計画諸元の設定、計画処理方針の検討を行った。	浅間山火山対策事業の基礎資料とするために必須となる。	他火山における砂防指定地状況 浅間山火山対策事業への反映	砂防指定地	火山対策
関東地整	利根川水系	H13～	利根川水系砂防管内流域(貯水池下流)	新砂防基本計画(水系砂防)の検討	総シミュレーションにより過去の土砂移動現象の分析、計画現象、計画基準点、補助基準点、評価点、計画諸元の設定、計画処理方針の検討を行った。	砂防基本計画策定に必須となる。	計画対象現象、計画基準点、補助基準点、評価点、基本諸元、計画諸元、土砂処理方針	砂防基本計画の策定に活用	砂防計画
関東地整	利根川水系	H15～	利根川水系砂防管内流域(貯水池下流)	新砂防基本計画(貯水池上流)の検討	資料収集整理 シミュレーションにより過去の土砂移動現象の分析、計画現象の検討を行った。	砂防基本計画策定に必須となる。	基本計画策定に向けての基礎資料、一部流域における計画シナリオの作成	砂防基本計画の策定に活用	砂防計画
関東地整	利根川水系	H15～	片品川流域	今後の砂防計画に取り込む土砂移動現象の検討	資料収集、積雪地域域シミュレーションにより過去の土砂移動現象の分析、計画シナリオの検討を行った。	積雪季節による土砂移動現象を今後の砂防計画に取り込むための基礎資料とする。	対象流域における積雪に関する資料、土砂生産要因の抽出、雪崩危険箇所マップ	砂防基本計画への活用	砂防計画
関東地整	利根川水系	H3～	群馬県多野郡鬼石町原地区	譲原地すべり対策工後の効果判定	現地調査、資料収集整理、安定解析	譲原地すべり対策事業に必須となる	地下水解析、安定解析、効果判定、対策工検討	譲原地すべり対策事業への反映	地すべり
関東地整	日光砂防	H14～	鬼怒川流域	シミュレーション及び現象把握	モデル作成及び現地基礎調査	砂防計画の立案の必要性あり	別添書類のどおり	砂防計画の立案	総合土砂管理
関東地整	日光砂防	H14～	大谷川流域	モニタリング及び同定	モニタリング	砂防施設整備による自然への影響の把握	別添書類のどおり	砂防事業の影響の把握	モニタリング
関東地整	渡良瀬川水系	H13～17	当事務所砂防管内	砂防事業の対象流域における自然環境特性の把握及び砂防施設による自然環境への影響調査	調査地区11箇所における一般調査(魚類、植物)、事業実施前3カ所における影響調査(動植物)	生態系に配慮し、漂流を貴重な財産として次世代に受け継ぐにふさわしい保全、整備を図っていくための基礎資料とする。	調査地区11箇所における植物生育状況の把握、事業実施前3カ所における動植物生育状況の把握	環境に配慮した砂防施設設計の基礎資料とする。	環境砂防
関東地整	渡良瀬川水系	H15	当事務所砂防管内	既設魚道設置箇所における、魚道湖上調査及び魚道施設状況調査	魚道施設状況調査(25箇所)、魚道湖上調査(4箇所)	砂防事業などの横断工作物で、魚の生息環境を損なわないために、魚道整備が不可欠となっている。	湖上調査実施箇所においては、魚道の有効性を確認した。また、湖上不可能な魚道について、改善のための方策を検討した。	魚道設置及び改修の基礎資料とする。	環境砂防
関東地整	渡良瀬川水系	H12～15	栃木県上野郡足尾町地先	松木山工機化ガイドライン(案)及び樹林帯保全育成の手引き(案)の検討	専門家の意見聴取、現地調査、地元意見の聴取、委員会形式による意見のとりまとめ	足尾地区の荒廃地において、土砂流出防止の根本的な対策として、山腹工の整備が急がれている	緑化計画の提案、保全育成手法の検討	松木山工機化ガイドライン(案)の作成	砂防計画 緑化

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種類 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
関東地整	渡良瀬川水系 渡良瀬川流域土砂移動実態後継調査業務	H9～17	当都府県砂防管内	平成15年度の調査の種類 河川特性、河床変動状況の把握、貯水ダムの流入土砂量の把握による土砂移動の把握	整備計画モデルの作成・評価、計画シナリオの検討・評価、短期計画対象現象の設定	上下流一貫となった土砂の管理を行うための基礎資料とする。	基本ダム下流区間における計画シナリオの評価、基本積元の設定	上下流一貫の土砂管理	砂防計画 土砂計画
関東地整	渡良瀬川水系 花輪床園群土砂移動後継調査業務	H15～16	群馬県多野郡東村地先	渡良瀬川上流部の花輪地区における土砂移動の把握	現地踏査、基本事項の検討、施設検討、自然環境検討、総合検討	河床低下傾向である渡良瀬川において、下流河道に列し安全でかつ効果的に土砂を供給する施設が必要となっている。	土砂移動特性の把握、施設配置計画の設定、自然環境の保全、創出の検討	花輪地区における床園群施設設計の基礎資料とする。	砂防構造物 土砂流出
関東地整	富士川砂防 野呂川溪流環境モニタリング調査	H14～16	山梨県南アルプス市戸安地先	環境モニタリング調査	自然環境の調査(マニピュルという魚介類調査、底生動物調査、植物調査、鳥類調査、両生類、爬虫類、哺乳類調査、陸上昆虫類調査並びにマニピュル(栗)という水域の調査、流量・水質の調査)を行い、自然環境を把握する。また、従前の調査結果、今回調査の結果から選定したモニタリング種についての追跡調査を行うとともに、影響評価項目を後継する。	南アルプス国立公園内における砂防工事の際、砂防工事設置に伴う動植物への影響を把握する必要がある。	モニタリング種の影響要因、影響予測及びそれに対する解析事項を検討した。	今後の整備計画、施設施工法に活用	環境調査
関東地整	富士川砂防 砂防基本計画後継調査業務	H11～16	富士川流域	土砂処理計画調査	現行の砂防基本計画の問題点を整理し、流域全体(流砂系)を踏まえた砂防基本計画を検討する。また、砂防基本計画、施設整備計画について、関係各行政機関、各種団体等を含めて合意形成を図り砂防基本計画、施設整備計画を策定する。	水系全体の適正な土砂移動バランスを回復し、効果的に対処を図るとともに、わかりやすい砂防基本計画、施設整備計画の策定が望まれている。	砂防事業による本川河床に対する効果把握した。基本計画書の内容をわかりやすく説明する資料を作成した。	今後の事業展開へ活用	土砂管理 砂防計画
中部地整	天竜川上流 柿の島砂防堰堤環境調査業務委託	H14～15	遠山川	環境保全対策検討	自然環境モニタリング調査を行い砂防事業が動植物に与える影響を予測、評価し、保全対策を検討する。	砂防事業が与える影響について把握し、保全するため。	事業による影響の分析。 ・施工中の保全対策 ・施工中、施工後に行うべきモニタリング調査	今後の砂防施設設計の基礎調査資料	環境保全
中部地整	天竜川上流 釜沢砂防堰堤環境調査業務	H14～15	小波川	環境保全対策検討	自然環境モニタリング調査を行い砂防事業が動植物に与える影響を予測、評価し、保全対策を検討する。	砂防事業が与える影響について把握し、保全するため	事業による影響の分析。 ・施工中の保全対策 ・施工中、施工後に行うべきモニタリング調査	今後の砂防施設設計の基礎調査資料	環境保全

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種類 (平成15年度以前に行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
中部地整	天竜川上流砂防事業経費効果検証業務委託	H15～16	天竜川上流管内	平成15年度の調査の種類 事業再評価検討	土砂流出を想定した汎用シミュレーションを行う。	砂防事業の費用対効果を検証し、経済評価を行うため。	太田切床固工群、裾尾第4砂防堤、七ヶ第2砂防堤について、汎用シミュレーションをもとに砂防事業による被害軽減効果を算出し、費用対効果を検証した。	事業再評価委員会の基礎資料とする。	砂防計画
中部地整	天竜川上流砂防事業経費効果検証業務委託	H15	小渋川と田切川	地形計測	ヘリコプター搭載地形計測・河床変動測量による地形解析。	山地河川における土砂移動状態の把握を行うため。	山地河川の土砂移動移動状態を把握することができた。	山地河川の土砂移動状態を把握するうえでの基礎資料とする。	砂防計画
中部地整	五竜川上流砂防事業経費効果検証業務委託	H15	入谷地すべり地区	地すべり機構解析	地すべり発生予測手法による水、時間単位予測、時間単位予測手法を確立し、地すべりによる災害を未然に防止するため。	流域防災情報ネットワークとして、地すべり自動観測システムを活用し、精度の検討をした。	雨量、地下水位データをもとに地すべり発生予測手法について検討を行い、精度の検討をした。ネットワーク機能を活用した地すべり自動観測システムを開発した。	防災体制への寄与。	地すべり
中部地整	天竜川上流砂防事業経費効果検証業務委託	H15	太田切川と中田切川	砂防施設が河床形成機構に与える影響の解析	無施設状態の河床と砂防施設設置後の河床を比較検討し、河床の形成機構をもとに砂防施設が河床に与える影響を評価した。	瀬や淵の保全、河川本来の自然形態、生物の生息環境等に配慮した砂防施設計画を具体化するため。	太田切川と中田切川をモデルに、扇状地自然環境、生態系分布等を併せ、砂防施設が河床形成機構に与える影響の評価を行った。	今後の砂防計画の基礎資料とする。	砂防計画
中部地整	天竜川上流砂防事業経費効果検証業務委託	H15	与田切川	土砂動態調査	土砂流出、土砂動態モデルによる流域の土砂収支、動態を解析し、砂防領域の土砂動態を取りまとめる。	流域系全体における土砂移動の把握、土砂動態の把握、土砂動態モデルによる流域の土砂収支、動態を解析し、砂防領域の土砂動態を取りまとめる。	山岳部からの土砂移動とダム上流における土砂生産・流出の把握、土砂動態モデルによる流域の土砂収支、動態を解析し、砂防領域の土砂動態を取りまとめる。	今後の砂防施設配置計画の基礎資料とする。	砂防計画
中部地整	天竜川上流砂防事業経費効果検証業務委託	H15	小渋川と田切川	総合土砂管理	土砂流出、土砂動態モデルによる流域の土砂収支、動態を解析し、砂防領域の土砂動態を取りまとめる。	天竜川本川への影響把握等により、総合土砂管理計画策定に必要な検討。	指流砂量の土砂動態マップの作成。天竜川本川の流出土砂量の把握。	今後の砂防施設配置計画の基礎資料とする。	砂防計画
中部地整	天竜川流域河床材料調査業務委託	H15	与田切川、小渋川(青木川・鹿嶋川含む)	河床材料調査	河床材料調査を行い、河床密度等のデータをまとめる。	山地河川の土砂について河床密度や土粒子の密度等を把握するため。	山地河川の土砂動態を把握することができた。	流送土砂量算定の基礎資料とする。	砂防計画
中部地整	静岡河川自然環境調査手法検討業務委託	H14～15	安倍川	生態系調査	既存の自然環境調査資料の整理・分析	砂防域における自然環境調査のあり方を整理するため。	安倍川における既存の自然環境調査結果等整理及び環境類型区別調査	事業計画立案時や詳細な環境調査計画立案時の参考資料	環境調査
中部地整	静岡河川土砂管理モニタリング調査業務委託	H11～15	安倍川	土砂移動状態調査	現地計測	流砂系における土砂移動状態の把握のため	土砂ハイドログラフ、土砂動態マップ	総合土砂管理流砂系モニタリング	浮遊砂
中部地整	静岡河川土砂管理モニタリング調査業務委託	H14～15	安倍川	砂防基本計画の検討	既存資料の収集・分析	基本計画見直しのため	計画シナリオ案	砂防基本計画の立案	砂防計画
中部地整	静岡河川土砂管理モニタリング調査業務委託	H14～15	安倍川	既設砂防えん堤スリット化の検討	既存資料の収集・分析	河床低下対策の一環として、流砂系における既設えん堤スリット化の効果を検証するため	流砂系における問題点と、スリット化によるメリット、デメリット	流砂系の土砂に係わる問題点解決の基礎資料	スリット化
中部地整	多治見河川自然環境調査業務委託	H15	木曾川砂防流域	自然環境調査	既存資料の収集、整理。現地調査。	自然環境特性の把握	現地確認状況	自然環境に配慮した砂防事業の推進	自然環境調査
中部地整	多治見河川自然環境調査業務委託	H15	庄内川砂防流域	自然環境調査	既存資料の収集、整理。現地調査。	自然環境特性の把握	現地確認状況	自然環境に配慮した砂防事業の推進	自然環境調査

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
中部地整 多治見河川国道	中津川砂防事業評価資料作成業務委託	H15	岐阜県中津川市	平谷堤防工事群、四ツ目川遊砂基礎資料作成	既存データの整理、解析。 アマゴの放流及び補獲。水生生物調査。	事業再評価のための基礎資料作成	流域の概要	事業再評価のための資料作成	事業評価
中部地整 多治見河川国道	深谷川魚道機能検証調査業務委託	H12 ~ 15	岐阜県中津川市	魚道への遊上調査	アマゴの放流及び補獲。水生生物調査。	魚道の機能評価	水生生物生息調査	水生生物との共生を考慮した魚道の構造検討	魚道機能
中部地整 多治見河川国道	木曾川砂防計画策定業務委託	H14 ~ 15	木曾川砂防流域	新砂防基本計画策定のため、水文関係資料の整理、解析、計画シナリオの設定と計画対象現象の設定検討	既存データの整理、解析。 アマゴの放流及び補獲。水生生物調査。	新砂防計画策定のための基礎資料作成	計画対象現象の抽出	新砂防計画策定	新砂防基本計画
中部地整 多治見河川国道	庄内川砂防計画策定業務委託	H14 ~ 15	庄内川砂防流域	新砂防基本計画策定のため、水文関係資料の整理、解析、計画シナリオの設定と計画対象現象の設定検討	既存データの整理、解析。 アマゴの放流及び補獲。水生生物調査。	新砂防計画策定のための基礎資料作成	計画対象現象の抽出	新砂防計画策定	新砂防基本計画
中部地整 多治見河川国道	多治見管内砂防施設業務委託	H15	事務所管内	砂防事業の必要性、緊急性の高い区域の抽出	既存データの整理、解析。 アマゴの放流及び補獲。水生生物調査。	新規事業箇所抽出	新規事業箇所抽出と概略設計	事業計画	施設配置計画
中部地整 多治見河川国道	四ツ目川流域総合管理業務委託	H15	岐阜県中津川市	四ツ目川流域に設置された砂防施設の管理方法及び遊砂工空間の利用等を検討	方針検討、モニタリング調査	直轄設備の移管に向けての課題の整理	計画(案)の策定	直轄設備の移管	砂防施設維持管理計画
中部地整 多治見河川国道	土岐川流域グリーンベルト構想検討業務委託	H13 ~ 15	庄内川砂防流域	新たなモデル地区での整備計画を検討し、樹林整備活動の拡大を図る	ワーキンググループ会議の実施	現在の活動の評価、課題抽出。今後の計画の検討。	活動の継続と支援	今後の活動	グリーンベルト
中部地整 多治見河川国道	北股沢床園工群砂防林事業後継業務委託	H15	長野県木曾郡上松町	北股沢床園工群と一体的に整備する予定の砂防林について、周辺事業計画と整合した事業計画及び管理方法について検討	既存資料の収集、整理。現地調査。	樹林帯の整備計画検討	樹林帯の砂防施設としての整備方針	樹林帯の砂防施設としての整備計画	砂防林
中部地整 多治見河川国道	多治見管内災害時対策業務委託	H15	事務所管内	防災体制、情報機器の現状の問題点を把握し、今後の防災体制について検討	既存資料の収集、整理。マニュアル作成。	災害時防災体制の明確化。マニュアル。	災害発生時の防災体制	災害発生時の防災体制	災害対策
中部地整 多治見河川国道	土石流危険渓流調査業務委託	H15	事務所管内	土石流危険渓流における保全対象等を調査し、過去のデータ(H11)の追加修正について整理	北上調査、現地調査。	土石流災害防止対策に係る基礎調査	土石流危険渓流と保全対象戸数	土石流災害防止対策	土石流危険渓流
中部地整 多治見河川国道	清川土石流調査業務委託	H16	長野県木曾郡上松町	北股沢における土石流の発生条件、発生要因について整理	北上調査、現地調査。	土石流移動状況の把握	レジャー計画による河床変動測量	土石流移動状況の把握	河床変動
中部地整 多治見河川国道	都市山麓維持保全検討業務委託	H13 ~ 15	全国のグリーンベルト実施地域	全国のグリーンベルト実施地域における課題の解決と事業推進方法の検討	既存データの整理、解析。 ヒアリング、アンケートによる現状の把握、課題の抽出。整備構想検討委員会開催。	今後の樹林整備に対する考え方の検討	委員会資料、検討結果	今後の活動	グリーンベルト
中部地整 多治見河川国道	歴史的砂防施設評価調査業務委託	H15	事務所管内	管内の砂防施設について歴史的、文化的な技術、工法等の特徴について検討	歴史的伝統砂防工法の資料収集、評価。	歴史的砂防施設の実態把握。文化的技術の後世への継承。	歴史的砂防施設の抽出	歴史的砂防施設の実態把握。文化的技術の後世への継承。	歴史的砂防施設
中部地整 多治見河川国道	魚道出口構想検討業務委託	H14 ~ 15	岐阜県中津川市	魚道出口の構造の模造実験の結果について、水理学的な検討、解析を行い、魚道本来の機能と維持管理の容易さを兼ね備えた構造について検討	模造実験と、そのデータの解析。	魚道の構造検討	魚道内への工事の流入を抑制する出口構造	魚道の構造検討	魚道機能
中部地整 多治見河川国道	多治見管内砂防施設劣化劣化対策検討業務委託	H14 ~ 15	事務所管内	直轄砂防施設について地震による破損、倒壊を防ぐための補強方法の検討	既存データの整理、解析。	地震時における既存施設の安定性の確認	安定計算	砂防施設の地震による破損、倒壊対策	安定計算
中部地整 多治見河川国道	庄内川流域砂防指定地検討業務委託	H15	庄内川砂防流域	砂防指定地の選定手順等を整理した砂防指定地調査マニュアル(案)の作成	既存資料の収集、整理。	砂防指定に関するマニュアル(案)作成	候補地の選定結果、マニュアル(案)	単元流域ごとの砂防指定	砂防指定地

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
中部地整	多良川河川 砂防事業健全性確保 調査後継業務委託	H15	事務所管内	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	モニタリング調査、資料整理。	住民の砂防への関心の把握	資料の整理	住民の砂防に関する活動プログラムの設立	住民意識調査
中部地整	多良川河川 清川砂防事業評価 資料作成業務委託	H15	長野県木曾郡上松町	北設沢床固工幹事後評価を行って うための基礎資料作成	既存データの整理、解析。	事業評価のための基礎資料作成	流域の概要	事業評価のための資料作成	事業評価
中部地整	沼津河川 狩野川水系砂防基本計画後継業務委託	H15	狩野川直轄砂防区域	砂防基本計画調査 (計画対象現象の認定および計画流量等計画精元の後継を目的とする)	計画対象現象及びその計画精元を認定する。	国民にとつてよりわかりやすい基本計画の策定が求められている。	狩野川台風型の計画対象現象を認定してその計画精元の土砂移動現象の影響を検討した。	計画対象現象時に想定される被害から、土砂処理方針を検討するための基礎資料とする。	砂防計画
中部地整	沼津河川 狩野川上流域降雨安定度調査業務委託	H15	狩野川直轄砂防区域	砂防計画基礎調査	空中写真判読及び現地調査	H15春雨による被災状況把握	砂防事業を実施するための考察、検討課題のとりまとめ	砂防基本計画	土石流
中部地整	沼津河川 狩野川上流域雨地形状特性調査業務委託	H15	狩野川直轄砂防区域	砂防計画基礎調査	空中写真判読及び現地調査	狩野川上流域における基礎データの取得、アカウンタヒリナイに断えうる資料の取得	土砂移動実績図の作成、荒廃特性の検討。	砂防基本計画	砂防計画
中部地整	沼津河川 狩野川上流域施設配置計画業務委託	H15	狩野川直轄砂防区域	砂防計画基礎調査	空中写真判読及び現地調査	H15豪雨による被災流域の施設配置計画策定	施設配置計画	砂防基本計画	砂防計画
中部地整	越美山系 狩野川上流域新砂防基本計画後継業務委託	H12 ~ 16	揖斐川	既往の土砂移動実績を基に、各土砂移動現象の変化について分析を行い、砂防計画の立案に資する調査	計画ナリ作成 土砂移動モデル作成	流砂系における総合的な土砂管理	土砂処理方針	砂防基本計画の立案	砂防計画
中部地整	越美山系 西前の谷自然環境モニタリング調査業務委託	H13 ~ 17	揖斐川	砂防堰堤の設置により周辺の自然環境への影響を把握するための事前調査及び工事中の追跡調査	現地調査	工事中や施工後の自然環境への影響把握	自然環境の把握及び影響項目の抽出	自然環境への影響を低減させる対策の検討及び検証	環境砂防
中部地整	越美山系 越美砂防管内魚道調査業務委託	H15	揖斐川	魚道内の土砂撤去作業等をして、遡上調査を実施し、維持管理手法及び施設計画に資する調査	現地調査	魚道機能の維持	魚道機能の確認及び維持管理手法	魚道の機能の維持管理	環境砂防
中部地整	越美山系 越美砂防管内砂防施設点検業務委託	H15 ~ 16	揖斐川	所管する砂防施設の機能及び周辺状況を把握するための基礎調査	現地調査	砂防施設の管理上の必要な情報収集	砂防施設の機能維持確認	砂防施設の管理	砂防構造物
中部地整	越美山系 貯水池上流モニタリング調査業務委託	H15 ~ 16	揖斐川	ダム貯水池への砂防事業効果として、貯水池堆砂形状の質的改善効果、濁水発生抑制、低減効果の検証	現地調査 データ整理	砂防施設の効果	治水前のデータ取得	砂防施設の評価	砂防事業
中部地整	越美山系 揖斐川流域自然環境調査業務委託	H15	揖斐川	直轄区域内における動植物の生息状況把握	現地調査	自然環境への配慮	坂内川、揖斐川下流域の生息状況把握	今後の砂防事業への環境に関する基礎資料	環境砂防
中部地整	越美山系 板取川流出土砂特性調査業務委託	H15	揖斐川	流域における台風6号災害の被害状況の整理等を行う	状況整理 土砂移動分析	砂防計画事業の是非	流出土砂特性について検討	砂防計画事業の検討	砂防計画
中部地整	越美山系 貯水池上流砂防基本計画基礎調査業務委託	H15 ~ 16	揖斐川	横山ダムの洪水調節機能の保全、ダム堆砂対策について、貯水池上流の砂防計画の立案に資する調査	状況整理 土砂移動分析	貯水池上流砂防計画事業の是非	土砂移動モデル	貯水池上流における砂防基本計画の立案	砂防計画
中部地整	越美山系 漂流環境再生化調査業務委託	H15 ~ 16	揖斐川	砂防施設の漂流環境に対する負荷を軽減するための調査	資料収集 影響項目抽出	自然環境への配慮	漂流環境への負荷軽減対策	今後の砂防施設への環境対策	環境砂防 砂防事業
中部地整	越美山系 里山自然再生推進への展開方策検討業務委託	H14 ~ 15	揖斐川	山間域における公共投資の理解を得るための方策の策定に資する調査	副読本作成 電子フォーム ヒヤリング	アカウンタヒリナイの向上	公共投資に理解を得るためのスキームづくり	今後の砂防事業展開への基礎資料	地域活性化 里山保全

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種類 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
中部地整	越美山系 揖斐川上流堤台風6号災害関連調査業務委託	H14～15	揖斐川	平成14年7月台風6号による豪雨で管内各地で土石流が発生した。本災害の被害状況をとりまとめると共に平成13、14年に発生した雪倒木との関連を調査	資料収集 ヒヤリング 写真判読	被害状況の把握	新規関連要因の特定	施設整備優先度の立案及び雪倒木被害の軽減	災害調査 雪倒木
中部地整	越美山系 越美山系砂防GIS整備業務委託	H13～17	揖斐川	砂防事業各段階における業務の効率化、高度化と行政サービスの向上のためのGISシステムの構築及び各種台帳等の電子データ化	各種データの電子化	データの一元管理による業務の効率化、高度化	砂防GISシステムの構築・運用	砂防計画や危機管理	砂防GIS
中部地整	越美山系 越美山系雪砂防計画後継業務委託	H15～17	揖斐川	雪崩や雪倒木等の雪による観点から、積雪寒冷地における砂防計画後継のための調査	資料収集 ヒヤリング	積雪寒冷地の砂防計画後継	積雪寒冷地における特性把握	雪の観点からの砂防事業	雪崩 雪倒木
中部地整	富士砂防 富士山大沢川砂防事業計画後継業務	H14～15	大沢川	砂防計画基礎調査	昨年度成果について 所長座談会	今後の源頭域対策計画の立案	「富士山大沢川」の砂防事業計画(ハンプ)内容修正	砂防計画策定に必要な基礎資料	砂防計画
中部地整	富士砂防 富士山大沢川測析業務	H14～15	大沢川	砂防計画基礎調査	過去32年の調査資料(空中写真)の分析、懸念の明確化	大沢川全体の地形特性、崩壊量等の予測、「富士山大沢川」内容修正	将来の大沢川の流れの形状、今後の崩壊量等の予測、「富士山大沢川」内容修正	砂防計画策定に必要な基礎資料	砂防計画
中部地整	富士砂防 富士山麓砂防林帯整備計画後継業務	H10～15	南西野	砂防計画基礎調査	汎用型レーザを運用し、施設配置計画の検討	保全対象地域の安全確保のため斜面全域での対策	樹林帯の土砂処理効果、維持管理方法	南西野野沢砂防計画	グリーンベルト
中部地整	富士砂防 富士山麓砂防事業評価後継業務	H15～16	大沢川	砂防計画基礎調査	既存の調査後継業務に基づき砂防施設の総合的効果後継	砂防計画上の位置付けの明確化	砂防事業の総合的効果を評価	砂防計画策定に必要な基礎資料	砂防事業
中部地整	富士砂防 富士山土石流発生機構解析後継業務	H13～15	大沢川	砂防計画基礎調査	現地観測、試験、解析	秋期、春期の土石流発生と凍土層に着目した土石流発生機構解析	土石流発生機構の解明方針を策定	精度の高い土石流発生基準の設定	土石流
中部地整	富士砂防 富士山管内総合土砂管理後継業務	H11～15	富士山	総合土砂管理	既存データ整理、ビデオ判読、土砂処理計画に基づいたモニタリング	流砂系の土砂収支判断の精度向上と土砂移動メカニズムの解明	モニタリングを基に流出土砂量の推定及び各施設の機能と効果の把握	総合土砂管理計画	総合土砂
中部地整	富士砂防 富士山南西野沢施設整備計画後継業務	H12～15	南西野	砂防計画基礎調査	現地調査、図面判読、基本土砂量把握	土石流危険渓流施設配置計画の検討及び整備優先度の検討	土砂処理方針策定、土石流対策施設の配置計画。優先施設の事業計画	南西野野沢砂防計画	砂防計画
中部地整	富士砂防 富士山大沢川源頭部崩壊変遷状況調査業務	H15～17	大沢川	砂防計画基礎調査	空中写真を用いた図面判読による崩壊変遷状況調査の結果の前年度との比較	砂防事業を進める上での基礎資料収集	大沢川源頭の崩壊土砂量及び形状等現状の把握	砂防計画策定に必要な基礎資料	砂防計画
中部地整	富士砂防 富士山南西地区砂防基本計画後継業務	H14～16	富士山南西地区	砂防計画基礎調査	資料収集、整理	わかりやすい砂防基本計画の策定	計画対象現象の設定	砂防計画策定に必要な基礎資料	砂防計画
中部地整	富士砂防 富士山大沢川源頭部崩壊変遷状況調査業務	H15～16	大沢川	砂防計画基礎調査	調査、検討結果をもとに今後実施する調査工事の具体的な検討(技術後継等開催)	大沢川源頭域対策計画の検討	源頭域での調査工事方針	源頭域での調査工事の継続	砂防計画
中部地整	富士砂防 富士山麓砂防事業所管内土地関係調査業務	H15	南西野	情報管理	調査対象範囲の資料収集、筆数、概算所有者数調査	管内砂防対象流域を単位とした面的な土地管理の実現	検査により流域及びメッシュ単位の土地情報が見えるシステム	効果的な土地情報管理	情報管理



平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種類 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
中部地整 富士砂防	富士山活火山調査業務	H14～15	富士山	火山砂防基本計画	火山ハザードマップで示された火山現象や規模を元にソフト、ハード対策を検討	富士山火山砂防基本計画策定としての対策	富士山火山砂防基本計画の後の「アールタイム」マツ試作版の作成	富士山火山砂防基本計画としての「アールタイム」マツ試作版の作成	火山砂防
中部地整 富士砂防	富士山火山・土砂災害情報システム検討業務	H14～15	富士山	火山砂防基本計画	他機関で調査されている情報を検討	緊急対策を効率的に進めるための情報共有化と情報発信	緊急時に効率的な対策がとれる情報共有化の協力を図る	緊急時に効率的な対策がとれる情報共有化の協力を図る	火山砂防
中部地整 富士砂防	富士山大沢川中流域河川環境調査業務	H14～15	大沢川	環境対応型新築砂防計画に向けた環境影響調査	動植物の生育調査、資料運搬計画の影響調査	新築砂防計画がおよぼす環境影響把握	新築砂防計画がおよぼす環境影響把握	新築砂防計画がおよぼす環境影響把握	砂防計画
中部地整 富士砂防	火山地域における観光地安全対策調査	H15	富士山	火山観光地安全対策計画	富士山観光モデルに現況把握、問題点・課題整理	全国的な火山観光地安全対策の在り方を提言する。	全国的な火山観光地安全対策の在り方を提言する。	全国的な火山観光地安全対策の在り方を提言する。	情報共有化
中部地整 富士砂防	富士山麓における砂防指定地管理に関する検討業務	H15	富士山	火山砂防基本計画	砂防指定地管理に関する課題等の抽出・整理	砂防指定地管理に関する課題等の抽出・整理	砂防指定地管理に関する課題等の抽出・整理	砂防指定地管理に関する課題等の抽出・整理	火山砂防
中部地整 富士砂防	富士山大沢川属状地帯整備計画検討業務	H12～15	大沢川	環境モニタリング調査	資料収集・整理	属状地帯下土砂の抑制及び環境保全に効果ある整備計画の策定	属状地帯下土砂の抑制及び環境保全に効果ある整備計画の策定	属状地帯下土砂の抑制及び環境保全に効果ある整備計画の策定	環境砂防
中部地整 富士砂防	富士山大沢川属状地帯環境調査業務	H15～16	大沢川	環境モニタリング調査	自然環境調査(秋冬)	沈砂池工が自然環境に与える影響把握	沈砂池工が自然環境に与える影響把握	沈砂池工が自然環境に与える影響把握	環境砂防
中部地整 富士砂防	富士山運搬手段環境検討業務	S63～15	大沢川	環境影響の少ない運搬技術の検討	新築砂防計画に適用した運搬技術の検討	自然環境に配慮した運搬技術の確立	自然環境に配慮した運搬技術の確立	自然環境に配慮した運搬技術の確立	運搬技術
中部地整 富士砂防	富士山砂防施設無人工化施工技術検討業務	H10～15	大沢川	無人工化施工技術の検討	実施試験及び技術検討	無人工化施工技術の確立	無人工化施工技術の向上	無人工化施工技術の活用	無人工化施工
中部地整 富士砂防	富士山の風土工学調査業務	H12～15	富士山	富士山周辺風土資産等調査	富士山周辺地域が有する風土資産を発掘・調査	富士山砂防事業の方針策定に資する基礎資料	富士山砂防事業の方針策定に資する基礎資料	富士山砂防事業の方針策定に資する基礎資料	風土工学
近畿地整 六甲砂防	土砂調査	H14～15	六甲山系	生産土砂量調査	表面浸食量の把握	GB整備事業の効果の定量化	GB整備事業の効果の定量化	河床変動・モニタリング	生産土砂、表面浸食、グリーンベルト
近畿地整 六甲砂防	流域特性調査	H14～15	六甲山系	総合土砂管理調査	流砂量の把握	GB整備事業の効果の定量化	GB整備事業の効果の定量化	河床変動・モニタリング	生産土砂、表面浸食、グリーンベルト
近畿地整 琵琶湖河川	田上山流出試験地観測	H15	若女谷、川向、堂塔谷の3試験地	雨量、水位、流量、流出土砂量の観測	三角堰水位、水温、気温、地温、湿度、土砂堆積量等の計測	土砂流出状況の把握のため	年間を通しての計測値を把握	下記調査にデータ提出継続調査	土砂流出
近畿地整 琵琶湖河川	田上山植生砂防効果調査検討	H15	堂塔谷試験地	土砂生産流出量の調査	同上	調査データを用いて、裸地斜面における土砂流出の空間的不均質性を把握し、植生カバナーが表面浸食に及ぼす影響を定量的に把握する	冬季の凍結・融解で生産された不安定土砂の多くが7月以前に流出、流域全体からの流出水の総量は、深い土層内に存在すると考えられる	新築砂防計画に関するデータ継続調査	土砂流出
近畿地整 琵琶湖河川	田上山植生砂防効果調査検討	H15	堂塔谷試験地	田上山表土による崩壊土砂流出実験	室内模型実験	斜面傾斜の違いによる実験と降土砂の崩壊の挙動の解明のため	斜面傾斜の違いによる実験と降土砂の崩壊の挙動の解明のため	新築砂防計画に関するデータ継続調査	斜面崩壊

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
近畿地整 琵琶湖河川	田上山植生砂防効果調査検討	H15	世間ヶ岳	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	定着基、樹高、基部直径、樹冠の測定等	山腹工等の効果検証のため	過去8年間(継続)の定着及び植栽木の成長を把握	新砂防計画に関するデータ継続調査	緑化
近畿地整 琵琶湖河川	田上山植生追跡調査	H15	田上山内調査試験地	山腹植生試験調査(間伐及び植栽木による林層転換技術)	毎木、実生、照度調査及び植栽木の活着、成長	林層転換技術を開発するための基礎資料を追究調査するため	補植あるいは種子まき等の実施(後継樹の導入)。補植木の生育を促すため(照度の確保)、間伐の実施	新砂防計画に関するデータ継続調査	緑化
近畿地整 琵琶湖河川	田上山植生追跡調査	H15	田上山内調査試験地	山腹緑化工事追跡調査(航空緑化技術)	植生、被覆率調査及び現存樹木への影響調査	航空機による山腹緑化工事の追跡調査を行うため	施工後の経過時間が短く、評価の判断は困難であるが、概ね成功。外来種中心の緑化工法採用の問題あり	新砂防計画に関するデータ継続調査	緑化
近畿地整 琵琶湖河川	瀬田川砂防総合土砂管理検討	H15	瀬田川管内	新砂防計画策定に関する検討	土砂移動現象の設定、基本諸元、計画諸元、土砂処理方針等の設定	瀬田川砂防基本計画を策定するため	本年度は、長期(平常時)における計画対象現象の設定から土砂処理方針の検討を実施	継続	土砂流出
近畿地整 大和川河川	亀の瀬地質データ3次元モデル作成	H15	亀の瀬地すべり地	施設整備計画調査	既存資料のとりまとめ	地下水排水施設の計画立案に必要	地すべり地内の地質の3次元化	地すべり	
近畿地整 大和川河川	亀の瀬地すべり安定度解析後討業務	H15	亀の瀬地すべり地	他事業関連調査	有限要素法による解析	地すべりブロックの安全度の確認	安全率の確定	地すべり	
近畿地整 福井河川	自然環境モニタリング調査	H13～15	真名川管内	砂防運送予定地の自然環境モニタリング調査	動植物の経年変化調査と多様性調査	砂防施設の設置による自然環境への影響把握	工事の影響があり、対策後は影響が減少	生物への影響予測と影響軽減対策に活用	自然環境
近畿地整 福井河川	自然環境調査	H15	真名川管内	管内運送設置箇所(予定地含む)の自然環境調査	個体数、種数、経年変化	管内の自然環境の現状把握	管内には豊かな自然環境が維持されており、砂防施設の影響は少ない	今後の事業における基礎資料として活用	自然環境
近畿地整 福井河川	土砂移動実績検証	H13～15	真名川管内	新砂防基本計画検討	シュレージョンモデルによる土砂移動検討	新砂防基本計画の策定	シュレージョンモデルの高精度化 中期の土砂移動の予測	新砂防基本計画の策定	砂防計画
中国地整 倉吉河川	大山山系砂防基本計画資料作成業務	H13～	天神川水系三小	天神川水系砂防基本計画策定及び整備計画策定のための基礎資料作成	既存調査資料の収集整理及び検討	天神川本川流域の施設計画を策定するため	天神川水系砂防整備計画(案)	天神川水系砂防基本計画及び整備計画の策定	土石流
中国地整 日野川河川	砂防自然環境調査業務	H15	鳥取県西白根市本町～日野郡江府	自然環境調査	モニタリング	砂防事業における貴重動植物の保全	特定種についても生息が認められた。	保全対策後討	砂防事業
中国地整 太田川河川	広島西部山系砂防砂防微地形調査業務	H13～	直轄砂防事業区域	微地形調査を行うことによる土砂移動特性の検討	微地形調査	砂防施設設計計画の基礎資料の作成を行う	広島西部山系の区域における土砂移動特性	砂防施設設計計画	微地形
中国地整 太田川河川	広島西部山系砂防砂防施設後討水理模型実験業務	H14～	直轄砂防事業区域	細粒土砂に対応した砂防運送による土砂調節効果検討	既存資料収集整理	広島西部山系はマサエで覆われ土砂を多く含む。	細粒土砂に対応した砂防運送による土砂調節効果検討	砂防施設設計計画	水理模型実験
中国地整 太田川河川	広島西部山系砂防砂防植生整備手法後討業務	H13～	直轄砂防事業区域	継続的に流域特性・流出土砂等について調査を行うことによる効果的かつ環境に配慮した山腹工の開発及び砂防効果の把握	水理模型実験 現地調査	植生を健全な状態に誘導することによる土砂生産の抑制	広島西部山系における植生状況及び植生誘導の方向性	植生整備計画	植生
九州地整 川辺川ダム砂防	川辺川流域土砂動態調査業務	H14～15	川辺川流域	基本計画調査	土砂移動に関する既存資料の収集整理についてモニタリング調査にて検討。	総合土砂管理及び新砂防計画の基礎資料となるための調査方針を後討。	大きな出水がなかったため、土砂移動に関する既存資料の収集整理し、今後の土砂移動モニタリング調査方針を後討。	総合土砂管理及び新砂防計画の基礎資料とする。	土砂調査

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
九州地整 宮崎河川 国道	霧島火山山砂防工事 対策調査業務	H15 ～17	霧島山周辺 区域	基本計画調査	現地地質調査と活動 特性調査。火山防災 の現状、急峻の把握 調査。現在火山噴火 シナリオ・ハザード マップの検討調査。	霧島山で予想される火山噴 火による土砂移動現象による 被害を防止・軽減を図る ため、砂防施設の配置等の ハート対策及び警戒避難対 策等のソフト対策を組み合わせ た総合的な噴火火山砂 防を策定していたため。	霧島火山防災への現状と意識把握 。現在の火山噴火シナリオ、ハ ザードマップに対する危機管理上 の問題点の抽出整理。	総合的な噴火対策基本方 針策定と火山砂防計画への 反映。	火山砂防
九州地整 宮崎河川 国道	高崎川水系砂防基 本計画検討業務	H11 ～17	高崎川(砂 防区域内)	基本計画調査、流出土砂量の 実態調査(ダム堆砂測定、河 道縦断測定、流砂量観測、 河床材料調査、流出土砂調 査)	現地計測と既往測量 成果。	水系一貫した総合的土砂管 理の策定を確立するため。	土砂移動予測モデル式へ の反映(総合的土砂管理)。 (流砂系)		
九州地整 大隅河川 国道	霧島火山山砂防基 本計画検討業務	H12 ～19	桜島	基本計画検討(防災計画)	計測シナリオに基づ くシミュレーションを 行うことにより基本方 針を策定する。	民家、施設などへの防災対 策立案の基礎資料となるた め。	引き続き、災害予想区域図を作 成し、検討を進めていく	火山砂防計画の基礎資料と する	防災計画
九州地整 大隅河川 国道	桜島活火山山腹緑 化検討	H12 ～19	桜島	施設整備および計画調査	桜島における法面斜 面での山腹緑化の 施工を行う	活火山山腹法面を緑化する 場合の有効な方法を検討 するため	法面の山腹緑化を行い、今後、 追跡調査が必要である。	活火山山腹緑化工法の基 礎資料となる	法面緑化
九州地整 雲仙復興 事業	社会特性調査	H14 ～15	雲仙山系	影響調査	住民や噴火災害施 設等利用者に対する アンケート調査を実施 した。	火山との共生の観点から、 噴火による災害以降着調 査を行い、今後の火山地域 での砂防事業の進め方の 指針とする。	火山地域による砂防事業の役割 や効果について検討	砂防事業を進めるにあたり 住民や利用者の意見を調 査し、砂防事業の効果を表 す指標とする。	火山砂防事 業
九州地整 雲仙復興 事業	氾濫区域調査	H15 ～19	雲仙山系	基本計画調査	噴火活動が終了して 直後の雲仙・曹賢店 において空中写真等 から土石流発生メカ ニズムを検討する。	噴火直後の火山における 土石流の発生メカニズムを 調査することにより砂防計 画の基礎資料とする。	砂防計画の基礎資料及び噴火活 動に対する警戒避難体制の基礎 資料。	警戒避難体制の基礎資料 砂防計画(施設配置)の基 礎資料。	砂防計画
沖縄 砂防調査	砂防調査	H15	沖縄本島 北部地域	河川における魚類等の生態環 境の悪化要因(砂防施設等) 調査	現地での魚類調査 等	環境に配慮した砂防整備の 検討が必要である。	H16年度継続調査のため結果は 出ていない。	砂防施設に活用	環境砂防
北海道 建設部砂 防工事課	幾春別地すべり対策 工事 生態調査	H15	三笠市(地 すべり区域)	生態調査(コナガリ) 水温・水質・気温調査 1式 (継続調査)	地すべり区域内に 生息しているコナガリ の生態範囲及び その生息について調 査を行った。	コナガリの保存を目的と した対策工設計を行った ため、コナガリの生態範囲を把 握する必要がある。	コナガリの生息について急流 部は良好に環境維持され昨年同 数の個体確認。緩傾斜地は個体 減少。 コナガリを新たに確認。	コナガリの生息に配慮 した地すべり対策設計を行 うための基礎資料となる。	地すべり
北海道 建設部砂 防工事課	沼田至山砂防工 事 地すべり解析業務	H15	沼田町字更 新第二	地すべり観測 N=3孔 (継続調査)	バグパイプ計及び 自記水位計による測 定。	山腹面にすべり面を確認し たため。	至計観測には新しい観測は自ら ななかったが、地下水位観測に 高い地下水位の観測が得られ た。	山腹工設計に活用。	山腹工の安 定及び緑 化。
北海道 建設部砂 防工事課	紅葉山地すべり対策 工事 観測解析	H15	夕張市紅葉 山地区	地質調査2孔(5) 水位観測28孔 至計観測15孔 地すべり解析 1式	ボリパイプを使った 地すべり観測、水位観測の効果を とこれをもとにした地 すべり解析	紅葉山地すべり対策工事で 施工された対策工事の効果 を確認し、安全率の達成度 を確認する。	観測、解析の結果、当初の安全 率がほぼ確保されているが、施設 の老朽更新が必要であることが わかった。	地すべり対策の効果判定	地すべり
北海道 建設部砂 防工事課	夕張南部地すべり調 査解析	H15	夕張市南部 地区	水位観測7孔 至計観測3孔 地すべり解析 1式	ボリパイプを使った 地すべり観測、水位観測の効果を とこれをもとにした地 すべり解析	過年度に施工された対策工 事の効果維持と所定の安 全率の確保について確認 し、今後の対応を検討す る。	観測、解析の結果、当初の安全 率がほぼ確保されているが、施設 の老朽更新が必要であることが わかった。	地すべり対策の効果判定	地すべり
北海道 建設部砂 防工事課	夕張昭和急傾斜地 崩壊対策工事調査 設計	H15	夕張市昭和 地区	地形調査L=210m 地質調査7孔36m 対策工設計1式	地形、地質調査をも とに急傾斜地崩壊対 策工事の実施設計 を行う。	急傾斜地崩壊対策工事業 実施のための対策工法を設 計する。	土留掘工を対策工と延長130m の実施設計を行った。	急傾斜地崩壊対策工法の 実施設計	斜面崩壊

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種類 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
北海道 建設部砂防災害課	夕張東山(特許)急傾斜地崩壊対策工事調査設計	H15	夕張市社光地区	平成15年度の調査の種類 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む) 地形調査 L=100m 地質調査 4孔 25m 全体計画作成 1式	地形、地質調査をもとに急傾斜地崩壊対策工事の全体計画を作成する。	急傾斜地崩壊対策工事実施のための全体計画を策定する。	土留柵工を対策工とする崩壊対策を策定する。	急傾斜地崩壊対策の全体計画策定	斜面崩壊
北海道 建設部砂防災害課	桜木(2)地すべり対策工事調査設計	H15	赤平市桜木(2)地すべり区域	ボーリング調査 2孔 46m 地すべり調査 7孔(新2、縦5) 地すべり解析 1式(2断面) 対策工設計 1プロック	ボーリング、地下水検閲、パイプ設計、対策工の調査、地質調査、設計等の基礎資料とするために行う必要がある。	地質調査、安定解析、対策工の効果判定等の外、今後工の調査、地質調査、設計等の基礎資料として活用していく。	Aプロックの集水及び集水ボーリング施工による水位低下が確認された。なお、いずれの観測孔でも地すべり変動等は確認されなかった。	地すべり	
北海道 建設部砂防災害課	歌志内文殊6急傾斜地崩壊対策工事調査設計	H15	歌志内市字文殊	地形調査 1式 地質調査 N=11孔 L=72m 地質調査解析 1式 法面工設計 1式	急傾斜地の地形調査及び地質調査解析	歌志内文殊の地区におき、急傾斜地崩壊対策工事実施のための対策工法を検討する。	地質調査の結果、0.3~1.0mのすべり層の確認された。地形的にも発生が多く存在することから、対策工法を土留柵工に決定した。	急傾斜地崩壊対策工事の実施を進めていく。	斜面崩壊
北海道 建設部砂防災害課	幌倉川(単独)砂防工事調査設計	H15	赤平市幌倉川地区	地すべり観測 N=2孔 地すべり解析 1式 (継続調査)	既設ボーリング孔を使用した伸縮計観測、水位計観測。	前年度実施した地すべり対策工の効果判定し、安全率の達成度を確認する。	伸縮計の観測では新たな変動は認められなかったが地下水水位は高い変動が認められた。	地すべり	
北海道 建設部砂防災害課	歌志内金井沢地すべり調査設計	H15	歌志内市本町地区	地形調査 1式 地質調査 N=3孔 L=24m 地質調査解析 1式 法面工予備設計 1式	すべり層を確認するための地質調査、解析	斜面上部に亀裂がはいり、すべり層厚があつく存在すると判断したため。	地質調査の結果、すべり層厚が0.3m程度であったことから、装置部における崩壊対策として工法を決定した。	斜面崩壊	
北海道 建設部砂防災害課	流出土砂量調査	H15	海八の沢川(砂防ダム2基) 札幌市西区手稲平和	砂防ダム堆砂量調査 2箇所 ①堆砂面調査 ②定荷積断測量 12本	既存ダム建設当時に対して、現在の堆砂状況を調べるとともに、経年堆砂傾向を把握する。	既存ダム堆砂量調査、フローに基づき調査を行い、今後の砂防計画に活用するとともに、堆砂量も確認する。	砂防計画立案の基礎資料並びに土砂災害防止法に基づき警戒区域設定の基礎資料	土砂流出	
北海道 建設部砂防災害課	テンジン川砂防工事の内小樽都市山麓グリーンベルト整備計画後討	H15	小樽市	都市山麓GB構想の住民啓発のため、モデル渓流を選定し、住民の活動場所を提供、森林の必要性、砂防事業の必要性等の理解を深める場の選定	市民団体への聞き取り調査、アンケート調査など	グリーンベルト構想の公表、パンフレットの配布などにより、市民への啓蒙を行うため。	平成16年度に紅葉川においてワークショップを実施予定。	地盤崩壊について実施されたグリーンベルトの活動状況を住民に紹介。	グリーンベルト
北海道 建設部砂防災害課	火山活動履歴調査	H15 ~	北海道東山町・蝦法善村・東山火山	火山活動履歴調査	現地調査・年代測定	情報緊急整備事業の計画規模・対象現象策定の為	東山では約1万年に一度のマグマ噴火(主に火砕流)、数千年に一度の山体崩壊、約2000年に一度の火山体崩壊の痕跡を把握した。また19世紀には3回の噴火があり、内1回は火山泥流(山体崩壊?)として部流を導流させたこととを確認した。	情報緊急整備事業の計画規模・対象現象策定への使用	警戒避難、火山活動履歴
北海道 建設部砂防災害課	土砂移動実態調査	H15 ~	北海道東山町・水無沢川	土砂移動実態調査	現地調査・年代測定・縦横断測量	情報緊急整備事業の計画規模・対象現象策定の為	水無沢川流域で広範囲に1846年の火山泥流堆積物を確認、堆積物は岩層などは岩層なだれ、確認された土砂量は約500,000立方メートルであった。また平成15年8月28日に発生した小規模土石流に伴う土砂移動実態(総移動土砂量300立方メートル)を明らかにした。	情報緊急整備事業の計画規模・対象現象策定への使用	警戒避難、土砂流、土石流
北海道 建設部砂防災害課	振動センサー起動値調査	H15 ~	北海道東山町・水無沢川、恵山町、白浜川	振動センサー起動値調査	地盤計(ボアホールタイプ)センサー型振動計)設置2箇所	振動センサーによる土砂移動検知のしきい値策定	東山火山を流下する2渓流について地盤計を設置し、8月28日に発生した小規模土石流に伴う振動を記録した。土石流の振動数は地震やノイズに比べて高い特性を持つことが明らかになった。また土石流発生時刻、継続時間を明らかにした。	東山周辺の振動センサーしきい値策定への使用	警戒避難、土砂流、振動センサー

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
北海道 建設部砂防災害課	降雨実態調査	H15～	北海道道山越地区、四軒地区、砂防地区(砂原町)	降雨実態調査	降雨雨量計7箇所、レーダー雨量計補正解析	情報収集整備事業の雨量観測局適正配置計画、土砂移動発生基準雨量の策定の為	6～11月に随時雨量観測を実施、8月28日土砂発生時の降雨を観測した。またH12年10月1日土砂移動時の降雨はメタス観測所では数mmの降雨記録に對して現場雨量計は時間雨量100mm近くを記録しており、雨量観測局増設の必要性を明らかにした。しかしこの降雨をレーダー雨量計は適正に記録していないことも明らかになった。	情報収集整備事業の雨量観測局適正配置計画、土砂移動発生基準雨量策定に活用	
北海道 建設部砂防災害課	駒ヶ岳 火山砂防工事環境調査委託	H15	洞度栴崎地区、四軒地区(砂原町)	植物調査、動物調査(哺乳類、鳥類、両生・爬虫類、昆虫類)	資料収集整理聞き取り調査現地調査	自然環境の現況を把握し、動植物の保全対策を検討する基礎資料とするため。	洞度栴崎地区は主に畑地、四軒地区は二次林が分布してや、着目種としてヤマシヤクヤクやクマゲラ等が確認された。	早期の補正調査、着目種の保全対策が必要である。	火山砂防
北海道 建設部砂防災害課	駒ヶ岳 火山砂防工事土砂収支検討委託	H15	駒ヶ岳山麓溪流7溪(森町、砂原町)	全体計画	現地調査・空中写真判読による荒廃現況の把握	土砂収支策としての全体計画が必要	全体計画の立案がなされた。	事業の効率的な推進	火山砂防・砂防計画
北海道 建設部砂防災害課	砂防部川道単砂防計画調査外1委託	H15	2級河川遊業部川水系(八雲町)	流出土砂量調査(堆積地分布、河床材積分布)	砂防ダム上下流区間での、樹木年齢による堆積時期の推定及びサブアル地点の粒径分析	既存砂防ダムのスリット化計画に關して、現況の土砂移動状況把握のため。	堆積地分布及び時期推定。河床材料の統一的な変化。	既存砂防ダムまたは今後の砂防工事と、土砂移動現象との関連について。	土砂流出
北海道 建設部砂防災害課	砂防部川道単砂防計画調査外1委託	H15	2級河川遊業部川水系(八雲町)	地形現況調査(継続)	河川横断面測量	既存砂防ダムのスリット化計画に關して、現況の土砂移動状況把握のため。	縦横調査データとの重ね合わせによる断面変化量。	既存砂防ダムまたは今後の砂防工事と、土砂移動現象との関連について。	河床変動
北海道 建設部砂防災害課	バンケオイチャヤンベ川砂防工事地形現況実線	H15		類型実線数値計算解析	現地地形を再現した模型実線1次元河床変動計算	バンケオイチャヤンベ川は、土砂の流下形態が様々な区間にスリット砂防堰堤を複数設置する計画である。このような場合の砂防堰堤効果については、不明な点が多く、砂防堰堤の配置計画を検討する際には水理模型実線と数値計算による検証が必要となる。	バンケオイチャヤンベ川における適切な砂防施設配置計画(資材)とする。コンクリートスリット砂防堰堤の設計資料とする。	砂防計画	
北海道 建設部砂防災害課	バンケオイチャヤンベ川砂防工事河道現況調査	H15		土砂流実態調査	現地調査	模型実線に必要な資料を得るため。	現地で試料を採取して土質試験等を行い、模型実線に必要な資料が得られた。	模型実線及び数値計算解析の基礎資料とする。	砂防計画
北海道 建設部砂防災害課	バンケオイチャヤンベ川砂防工事環境調査	H15		植物調査(陸上・水生)、動物調査(鳥類・両生類・昆虫類)	現地調査	砂防事業区域及び影響が予想される区域内の動植物相を調査し、砂防施設配置計画及び今後の工事を実施する際の基礎資料を得るため。	砂防事業区域及び影響が予想される区域内の動植物相が把握された。	砂防施設配置計画及び今後の工事を実施する際の基礎資料とする。	環境
北海道 建設部砂防災害課	第2幹線川砂防工事流出土砂量調査	H15		流出土砂量調査	現地調査	砂防施設配置計画を行う上で必要な土砂量の流動形態と土砂量のピーク流量算出の基礎資料を得るため。	砂防施設配置計画を行う上で必要な土砂量の流動形態と土砂量のピーク流量算出の基礎資料が得られた。	砂防施設配置計画の基礎資料とする。	砂防計画

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種類 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
北海道建設部砂防災害課	第2幹線川砂防工事環境調査	H15		平成15年度の調査の種類 (陸上・水生)動物調査(度生動物・鳥類・同生類・は虫類)	現地調査	砂防事業区域及び影響が予想される区域内の動植物相を調査し、砂防施設配置計画及び今後の工事を実施する際の基礎資料を得るため。	砂防事業区域及び影響が予想される区域内の動植物相が把握できた。	砂防施設配置計画及び今後の工事を実施する際の基礎資料とする。	環境
北海道建設部砂防災害課	野本の沢川砂防工事環境調査	H15		植物調査(陸上・水生)動物調査(度生動物・鳥類・同生類・は虫類)	現地調査	砂防事業区域及び影響が予想される区域内の動植物相を調査し、砂防施設配置計画及び今後の工事を実施する際の基礎資料を得るため。	砂防事業区域及び影響が予想される区域内の動植物相が把握できた。	砂防施設配置計画及び今後の工事を実施する際の基礎資料とする。	環境
北海道建設部砂防災害課	西山川砂防工事(濠特)土砂流出形態調査	H15	虹田町高瀬湖温泉町(西山川流域)	ガリ調査、金比羅火口(K-A、K-B)、ガリ浸食調査	定点観測(縦横断面)火口2測線、ガリ3測線	計画生産土砂量の算出根拠となる、降雨量と土砂流出量の関係の検証。	H13から継続観測を行い資料取集中。H17中間取りまとめ予定。	2000年噴火における、有珠山の生産土砂量の計画と実際の比較検討資料。	火山砂防
北海道建設部砂防災害課	優徳(2)地すべり調査	H15	大滝村字優徳	地すべり調査 5孔、H13より継続観測	地すべり調査 5孔(空計、地下水位観測)	H14に滞在ひずりみを確認され、その観測と地すべり想定線の確定。	継続観測中であり、資料取集中。H17以降に解析取りまとめ予定。	地すべりの有無及び範囲等の確定。	地すべり
北海道建設部砂防災害課	西山川外(道単)砂防工事植栽設計	H15	虹田町高瀬湖温泉町(西山川・小有珠川・小)	植生調査・緑化計画図作成	コドラート調査(陸上植物)	自然公園法の第2種特別地域内であり、現地を基に植生回復を図る必要性がある。	現地在来種の植生による自然侵入を期待する工法を検討。	H16に自然侵入による植生回復の試験施工を予定する。	緑化
北海道建設部砂防災害課	ユオイ沢川砂防工事調査設計	H15	ユオイ沢川	台風10号により発生した土石流の無施設時と施設配置時の再現実シミュレーションを行い、効果的な施設配置計画の検討を行う。	現地調査 シミュレーション/解析	台風10号により発生した土石流の実態を把握し、効果的な施設配置を検討する。	シミュレーション/解析結果を基とした効果的な砂防施設配置計画設計を行う。	砂防計画 土砂流出	
北海道建設部砂防災害課	慶能舞川砂防工事溪流調査設計	H15	慶能舞川	台風10号により発生した土石流及び流木の移動量を現地調査する。	現地調査 空中写真解析	台風10号により発生した土石流被害が発生したため、流出形態の把握を行い、砂防施設配置の追加検討をする。	今後、生産される土砂量及び流木量を算出した。	砂防計画 土砂流出 流木	
北海道建設部砂防災害課	サテキナイ川砂防工事溪流調査	H15	サテキナイ川	台風10号により発生した土石流の無施設時と施設配置時の再現実シミュレーションを行い、効果的な施設配置計画の検討を行う。	現地調査 シミュレーション/解析	台風10号により発生した土石流の実態を把握し、効果的な施設配置を検討する。	施設配置した場合のシミュレーション/解析により、効果的な施設配置計画が得られた。	砂防計画 土砂流出	
北海道建設部砂防災害課	門別出張所管内砂防調査	H15	里平川 ウエチカン川	台風10号による流木流出が災害の原因となった漂流を抽出し、その分布を明らかにし、荒廃状況を調査する。	現地調査 空中写真解析	台風10号の豪雨で流木流出による被害を受けた漂流を抽出し、緊急的に砂防事業が必要な漂流の把握を要する。	上流は荒廃拡大が著しく、大量な流木が河道内に堆積されている厚別川水系の里平川、ウエチカン川の流木補足量を算出した。	砂防計画 土砂流出 流木	
北海道建設部砂防災害課	比字川外砂防計画調査	H15	比字川 貫気別川	台風10号により発生した土石流及び流木の移動量を現地調査する。	現地調査	台風10号により発生した土石流及び流木の発生を把握し、効果的な施設配置を検討する。	今後、生産される土砂量及び流木量を算出した。	砂防計画 土砂流出 流木	
北海道建設部砂防災害課	元浦川砂防工事環境調査	H15	浦河町	魚類調査	投網、タモ網 地点、2回	魚道後討のため、砂防事業の事前調査のため	ヤマメが半分以上を占め、その他ニジマス、ハナカサガ、カワヤツメ、トミヨ等が採捕された。	砂防堰堤魚道対象魚種後討	環境
北海道建設部砂防災害課	元浦川砂防工事環境調査	H15	浦河町	水質調査	15項目 4地点、2回	砂防事業の事前調査のため	河川AA類型相当の結果が得られた。	現況水質の把握	環境
北海道建設部砂防災害課	若牛内川砂防工事環境調査	H15	愛別町協和	水辺調査(魚介類・植物・陸上昆虫)	現地調査による詳細なアンケートの収集	工事施工が区域内の植物・昆虫・魚類について影響を与えうる影響を考慮する必要があるため。	植物及び昆虫・魚類について影響される種が発見された。	移植等により対象物を保全する検討を行った。	砂防構造物

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種類 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
建設部砂防災害課	若牛内川砂防工事スリットダム検村(模範実験等)	H15	愛別町協和	シミュレーションによるスリットの効果を把握。砂防設備水平バーの効果を把握。実験及び解析	模範による実験・再現モデルによる再現計算	既設砂防工事の構造・再構築を考慮する必要があるため	スリット部からの一部有砂土砂の流出が確認された。	構造の再検討を行った。	土砂流出
建設部砂防災害課	ヒヤンリ川砂防工事魚類追跡調査	H15	名寄市日進	魚介類調査	投網による捕獲調査	工事施工が区域内の魚介類に与えた影響を考慮し今後の工事の参考にする必要があるため	施工済区間に於いても魚介類の生息が確認された。	引き続き清流保全工事の施工を行い今後も期間を置いて追跡調査を行う。	砂防構造物
建設部砂防災害課	八幡の沢川砂防工事環境調査	H15	名寄市智恵文	魚介類調査・底生動物調査	投網・タモ網等による捕獲調査	砂防ダム等を設計するための基礎資料として必要があるため	ザリガニ等の貴重種が発見された。	今回の結果をふまえ次年度も引き続き調査を行うこととした。	砂防構造物
建設部砂防災害課	八幡の沢川砂防工事環境調査その2	H15	名寄市智恵文	哺乳類・鳥類調査	痕跡及びライオンセンス法・定点法による現地調査	砂防ダム等を設計するための基礎資料として必要があるため	ザリガニ等の貴重種が発見された。	今回の結果をふまえ次年度も引き続き調査を行うこととした。	砂防構造物
建設部砂防災害課	富良野川砂防工事植生試験	H2 ~ 20	上富良野町	種子追跡調査 種子採取調査 解析考察	試験地での実験調査を行う	砂防工事現場が国立公園内であるため、工事跡の裸地を在来種で植生を回復させるため	在来種での植生回復工法のデータを取得する。	工事跡の裸地の植生を回復する。	緑化
建設部砂防災害課	十勝岳噴火警戒避難対策事業 土石流基準雨量調査	H14 ~ 17	上富良野町	気象観測 レーダー雨量と山岳雨量との相関解析	雨量観測、水位観測、風向風速観測	十勝岳の噴火及び土石流災害から人命を守るための基礎資料として必要があるため	警戒基準雨量(暫定)の設定。レーダー雨量計による山岳雨量の推定。	警戒避難	警戒避難
建設部砂防災害課	ポソ布部川砂防工事植生試験	H10 ~ 17	富良野市	木本類及び草本類植生試験 生育状況調査 種子採取・播種 挿し穂採取・埋幹 解析考察	現地試験施工 現地調査	工事跡の裸地を在来種で植生を回復させるため	過年度の試験施工結果より、生育不良個所の施肥が有効、玉石マルチングやポソ布苗も有効。	次年度以降の植生試験内容へ応用する。	緑化
建設部砂防災害課	ポソ布部川砂防工事河床変動調査	H12 ~ 17	富良野市	現地調査 流送土砂量調査 解析考察	現地踏査・測量	現在施工中の河床保全工事の機能状況を把握し、今後の事業施工内容へフィードバックするため	施工中の施設については、ほぼ適切な機能を発揮していた。	終年的な河床変動の追跡資料とする。	砂防計画
建設部砂防災害課	ツツカク川富良野川砂防工事植生追跡調査	H6 ~ 20	上富良野町	種子追跡調査 種子採取調査 解析考察	現地踏査・測量 現地調査 種子採取	砂防工事現場が国立公園内であるため、工事跡の裸地を在来種で植生を回復させるため	発芽状況が悪い顕性土壌面所の対策工法を決定。	次年度以降の植生追跡調査に活用する。	緑化
建設部砂防災害課	豊稔別川砂防工事魚類生息調査	H15	豊稔別川	魚介類調査・底生動物調査・陸上昆虫等調査・河川調査・水質分析	砂防工事区間の生態系の実態調査	工事での生態系保全及び工事後の変化による復元の検討	サクラマス等の詳細な調査が必要である。陸上昆虫類については、貴重種が確認されたため、生息環境の改善に伴う対策の検討が必要である。	砂防計画に於ける生態系を配慮した施設配置計画	環境砂防
建設部砂防災害課	豊稔別川砂防工事環境調査	H15	豊稔別川	植物調査・鳥類調査・両生類・爬虫類・哺乳類調査・水質分析	砂防工事区間の生態系の実態調査	工事での生態系保全及び工事後の変化による復元の検討	本調査区間は、多くの重要な動植物が分布しており、砂防計画の上、環境への影響を回避・低減することを検討する必要がある。	砂防計画に於ける生態系を配慮した施設配置計画	環境砂防
建設部砂防災害課	豊稔別川砂防工事生態系追跡調査	H15	豊稔別川	魚介類調査・底生動物調査・植物調査・河川調査	砂防工事区間の生態系の実態調査	工事での生態系保全及び工事後の変化による復元の検討	陸上・水生植物については在来種が侵入し復元に向かっており、河床に局所的な露岩があり、魚類・底生動物への配慮が必要である。	河床・河床へ多様な底質環境を配慮	環境砂防
建設部砂防災害課	豊稔別川砂防工事堆砂量調査	H15	豊稔別川	縦断測量・横断測量・ポソ布部川調査・流出土砂量算定・総合検討	現地踏査(縦断調査) 調査・樹木年代解析調査等)及び空中写真による解析	今後の土砂流出を推定するための基礎資料	既設砂防ダム6基の内5基が満砂状況にあり、現状では十分な調節効果が期待できない。	流出土砂量調査およびシミュレーション解析の基礎資料	土砂流出

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
建設部砂防課	留萌塩見地すべり対策工事外1観測調査	H15	留萌塩見地区増毛岩老地区	地すべり区域における地下水の種別(平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	地下水観測	地すべり区域の安全度の把握	対策済みプロットは、目標安全率以上であり地すべり兆候も見られない	対策工事への反映	地すべり
建設部砂防課	留萌春日1雪崩対策工事観測調査解析	H15	留萌春日1地区	雪崩対策施設(スノーネット)工法における積雪時の応力の検証	歪み計の設置及び観測	雪崩時の応力解析	降雪状況により変化するため継続的な調査が必要	対策工事への反映	雪崩
建設部砂防課	礼文元地外1地すべり対策工事の内観測調査委託	H15	礼文元地外1地区	歪み計測 地下水観測 移動抗測定 地盤伸縮計測定	歪み計測 地下水位 自動計測(カードで1分収録(月1回)) 移動抗測定 標柱杭を光波計で直接水準 伸縮計測定 自動計測方式 日変動量(0mm)	地すべり動向の把握と対策工法の効果確認を行うため	歪み・移動抗・伸縮計測定の変動は見られない。地下水位は対策工法により減少傾向にある。	対策工法の効果確認	地すべり
建設部砂防課	稲積川砂防工事(環境調査)	H15	常呂郡置戸町勝山	底生動物調査(ニホンザリガ)	現地調査によるザリガニの生息数を調査	環境省レッドリスト絶滅危惧種Ⅱ類に該当するため	生存在確認され今後も継続して調査が必要	砂防施設建設に活用	環境砂防
建設部砂防課	茅渚川砂防工事環境調査解析	H15	上川郡清水町	環境調査	①魚類調査 ②定点記録法、ラインセカス法 ③エロサンショウウオ調査 ④産卵、生息、水質調査 ⑤魚類調査 ⑥魚道遡上調査	工事による影響がないか、環境に施工した魚道が遡上可能かどうか、モニタリングするため	エロサンショウウオ調査は、個体数の減少はみられなかった。アイスハーパー魚道の機能調査については、遡上が確認された。	生物の多様性が確認されているため、多様性の保存に向けモニタリングをするため。	環境砂防
建設部砂防課	ペンケ新得川砂防工事環境調査	H15	上川郡新得町	環境調査	①魚類調査 エルゴロヨカ、タモ網、サズ網 ②底生動物調査 サマーネット等 ③陸上昆虫調査 目視	過去の調査の結果と比較して対象動物の推移を把握し、今後の設計に役立てることを目的とする。	魚類については、工事前に確認されている種をすべて今年度調査で確認。 陸上昆虫調査では、当該河川近傍でホタルが生息している。	ホタル等を配慮した空間を創出する設計を行う。	環境砂防
建設部砂防課	東広尾川砂防工事砂防調査	H15	広尾郡広尾町茂寄	砂防計画調査	①河床変動調査 ②河床材料調査 ③水位・流量観測 ④魚類調査	床固工の施工効果について、河床変動・河床材料調査からの土砂調節効果と魚類の生息状況調査から、今後の施工を予定している床固工施工後の変化を分析するための資料とする。	本事業により設置した2号床固工の機能および今後最低限必要な床固工について確定できた。	河床変動・河床材料調査および水位観測等より砂防計画の妥当性を確認し、魚類調査からは入り江効果による生息環境を確認する。	砂防計画
建設部砂防課	東広尾川砂防工事環境調査	H15	広尾郡広尾町山アハ	環境調査	①魚類調査 ②サケ産卵床調査	床固工を計画する上で自然環境(サケマス)への影響を調査する。	本工事においては、砂防工事の進捗にあわせて魚類およびサケマスの産卵床の調査を行ってきた。が、砂防工事による環境変化は見られるものの、スリカタイプの床固工を設置することにより河川の連続性が確保されサケマスの産卵に適した環境は小規模ながら全川に存在しているなど、良好な生息空間が存在していることが確認された。	魚類に対する環境影響評価。	環境砂防
建設部砂防課	東広尾川砂防工事地下水調査	H15	広尾郡広尾町山アハ	水文調査	①地下水位観測 ②水質調査 ③流量観測	施工地周辺で使用されている地下水に対する影響を、工事による影響調査を行う	5号床固工周辺では、水位・水量・流量ともに工事による影響は認められなかった。	工事損失防止調査のための基礎資料および影響評価検討資料。	水文



平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
北海道 建設部砂防災害課	音駒津川砂防工事 砂防調査	H15	広尾郡広尾町音駒津	砂防計画調査	①河床変動調査 ②河床材料調査 ③水位・流量観測	音駒津川および支川(カカシエツ川)の土砂移動現象を検証し、砂防計画の基礎資料とするため河床変動調査、河床材料調査、水位・流量観測を行う。	本調査により、音駒津川の施設の妥当性、カカシエツ川からの土砂流出の可能性について概ね検証された。今後河床工事の着手するが、シミュレーションの結果との整合等、引き続き調査を行う必要がある。	砂防計画のメンテナンスとの整合検討。	砂防計画
北海道 建設部砂防災害課	音駒津川砂防工事 環境調査	H15	広尾郡広尾町音駒津	環境調査	①魚類調査 ②サケ産卵床調査 ③水生観測	床固工を計画する上で自然環境への影響を調査する。	北海道レッドリストの留意種(N)として記載されるサケマス(サケ、エリハカシカ)およびヤママスが確認される。秋委にはサケが目撃されている。サケの産卵床は、河口からSP1,800の区間で7箇所確認されている。毎年200~300万匹の稚魚が放流されているが、放流箇所から河口まで近く流遷が早く、ためどまる場所がなく回帰率は低いものと推測される。エリハカシカはSP2,000~SP3,000の区間に多く確認される。生態が未だよく分かっていない生物であるため今後も継続調査を行う必要がある。	施設配置計画および施設設計。	環境砂防
北海道 建設部砂防災害課	岬地すべり対策工事 調査設計	H15	北海道白糠郡白糠町字石炭岬	災害関連緊急地すべり対策工事実施に伴う地質調査・地すべり観測、対策工設計	ボーリング調査実施 地すべり及地下水水位計を設置し、観測及び解析を実施	地すべり発生後も不安定土塊が存在しており、緊急の対策を必要としたため	調査及び解析の結果、現場吹付法併用でアンカーを主とする対策工を策定し、当該年度に実施した	地すべり	
長野県 土木部調査管理係	土砂災害防止法に基づく基礎調査	H14~	県内一円	土砂災害防止法に基づく警戒区域等の設定のため基礎調査	基礎地図を用いて、区域の机上設定および現地調査	土砂災害防止法による。	調査中	土砂災害防止法に基づく区域指定	土砂法
長野県 土木部調査管理係	地下水調査	H15	北相木村字中尾	地下水調査(水位観測・水質調査)	水位計観測 一般飲料水試験 10項目	砂防工事の地下水の状況の把握に併い、当該調査において利用のある井戸水に与える影響を評価する必要があるため	工事着手前の地下水の状況の把握が得られた。	本措置手続後に井戸水に異常が現れた場合に工事が影響したものが判断材料とする	地下水
長野県 土木部調査管理係	環境調査	H12~	小諸市 栃木川	砂防工事設計画地における猛禽類への影響を調査	現地調査にて猛禽類の飛翔状況、営巣、繁殖状況を確認し、自然環境調査、社会環境調査結果と合わせ行動圏の内部構造調査を行い、最大行動圏や高利利用域等を解析する。	営巣可能範囲の調査にあたっては2年間の追跡調査が必要とされており、営巣範囲確認のために砂防堤、堤防地周辺の猛禽類(主にオオタカ)の営巣地、行動圏を把握し、専門家にリポートによる助言、指導を得ながら事業計画立案に反映する必要がある。	2年間の調査結果を取りまとめた結果、計画地周辺で猛禽類の飛翔、営巣、古巣を確認したが、砂防工事設計画地からは距離が離れており、行動圏への影響も少ないことから、猛禽類への影響は少ないことが確認された。	現地周辺の自然環境状況にあつた砂防工事設計画を立案(工程、工法等の配慮)	環境砂防
長野県 土木部調査管理係	環境調査	H16~17	富士見町 陣平	既設魚道の魚類遡上調査	魚道の下流側に標識魚を放流し、遡上した個体を定置網で捕獲する。魚道の流速、水深を測定する。	砂防河川である立川川において、既設魚道の機能を検証するとともに、今後の魚道設計の基礎資料を得る。	H16秋に実施予定	今後の魚道設計に活用	環境砂防

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
長野県土木部調査管理係	地下水調査	H13～15	諏訪市 沢川	天井川区間周辺の井戸、湧水等の現地調査を行って台帳を作成し、工事の影響の有無調べるデータ収集	井戸の水位、湧泉の湧水量の観測	工事着手前に井戸、湧水等の現状把握を行い、工事の影響の有無を調べる資料とする。	井戸台帳、湧水台帳作成工事の進捗に合わせて、調査を継続する。	工事施工による井戸等への影響の有無の確認に活用したい。	水文
長野県土木部調査管理係	地すべり調査	H10～	南信濃村 須沢	地すべり地の移動量調査	ハイク至計、孔内傾斜計観測	対策工事による効果検証と危険の予知	調査孔の位置により移動の有無が確認され、一部は專業効果の内のごとく対策工が必要かの判断材料にもなっている。	地すべり対策の検証、危険の予知等	地すべり
長野県土木部調査管理係	地下水調査	H15	木曾福島町 上の段	地下水調査	水位観測 水質検査	アンカー工事のグラウト施工による井戸水への影響を評価する必要があるため	グラウト施工により地下水に影響を与える可能性が高いことが判明した	仮設計画、施工方法の検討材料とする	地下水
長野県土木部調査管理係	環境調査	H15	松本市 中山沢	砂防堰堤計画地周辺の貴重種分布状況把握のため	現地調査により、自然環境の状況を把握する。	砂防堰堤計画地付近の動植物分布状況を把握し、事業計画に反映させる。	計画地付近のみ貴重種が存在している。	堰堤計画地の変更	砂防計画
長野県土木部調査管理係	環境調査	H15	牛伏川流域	魚類と水生昆虫の生息調査に基づき策定された環境整備計画により、施工された箇所の効果把握のため	現地調査により、支流も含めた魚類、水生昆虫の生息状況を調べ、施工前の調査と比較する。	整備計画に基づき一定区間の工事を実施、追跡調査により環境復元状況を確認する。	貴重種のノギカワガエラは、施工前にはほとんど確認できなかったが、施工後は多数確認できた。ニッコウワユワユは、ほとんど変化が見られなかった。	現地周辺の自然状況、生態系への負荷を最小限とする工法への活用	環境砂防
長野県土木部調査管理係	林相転換事業に係る調査	H15	牛伏川上流域	施工区の予備調査、生草量追跡調査、整備方針の検討	現地調査とガイドライン検討	施工区の維持管理上、事業効果の検証の上からも継続調査が必要。	施工区の区域設定が終了し、追跡調査と、補植を含めた維持管理検討に入る。	工事にフィードバックし、維持管理方法への活用	環境砂防
長野県土木部調査管理係	明治期の砂防施設に係る調査	H15	松本市 牛伏川	山腹にある砂防施設の状態把握と歴史的背景、文化財的価値の整理	現地調査と文献調査	明治期の砂防施設のデータを一を整備。	古い施設が継続活用され、また文化財として活用。	砂防文化財	
長野県土木部調査管理係	環境調査	H10～	四賀村 岩井井	水生生物環境調査・モニタリング調査	現地調査	砂防えん堤計画地周辺に、ハコネサンショウオウが生息していることから、砂防設備の施工前と施工後の影響を把握する	砂防えん堤施工前(H10H11)に現地調査を行い、生体を移殖、えん堤完了後再び現地調査(H14H15)を行うことが、個体数は増加している	現地周辺の自然状況、生態系への負荷を最小限とする検討資料	環境砂防
長野県土木部調査管理係	環境調査	H15	三郷村 黒沢川	砂防專業計画箇所における自然環境を調査	文献・現地調査により自然環境の状況を把握する。	砂防專業計画箇所周辺の自然環境の状況を把握し、專業計画立案に反映させる。	場所によっては、貴重種が確認された計画及び事業の実施に活用。	現地周辺の自然状況にあった計画及び事業の実施に活用。	環境砂防
長野県土木部調査管理係	環境調査	H10～	山ノ内町 一の沢	鳥類生態調査	モニタリング	総減伐候補クマタカノ生態調査	行動圏、高利用域を確認した。	工事の影響確認および対策 工法	環境調査
長野県土木部調査管理係	水質・土壌調査	H11～	山ノ内町 洗湯	土壌調査・水質分析調査	サンプリング	細面切土の成分分析等を行い、残土処理先への影響を評価する必要があるため	影響なし	工事の影響確認および対策 工法	水質 土壌
長野県土木部調査管理係	温泉影響調査	H11～	山ノ内町 洗湯	温泉影響調査	水質・湧量・水位観測	斜面切土に伴い、周辺温泉(湧泉)に与える影響を評価する必要があるため	影響なし	工事の影響確認および対策 工法	水文

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード	
長野県 土木部調査管理係	温泉影響調査	H15	山ノ内町 仏岩	温泉影響調査 放射能調査・地温調査	地すべり対策工法が周辺 温泉(湧泉)に与える影響を 評価するため	影響なし	温泉に影響の少ない対策工 法の検討及び工事の影響 確認	水文		
長野県 土木部調査管理係	地すべり調査	H15	山ノ内町 仏岩	雨量観測・地質調査・パイプ壺 み計観測・地盤伸縮計観測	対策工事の効果把握および 今後の工法検討	地すべりの原因、すべり面が確認 できた。	早期な対策工法の検討及 び対策工事の効果把握	地すべり		
長野県 土木部調査管理係	環境調査	H12 ~	栄村 天代川	猛禽類生態調査	絶滅危惧種マダガスカのツバ メ、行動圏を把握し、専門 家の市道を得ながら工事の 施工計画に反映させる	H13に繁殖した巣で新たに幼鳥 が確認された	工事の影響確認及び対策 の策定	環境砂防		
長野県 土木部調査管理係	環境調査	H14	白馬村 峰方	砂防えん提計画地における自 然環境への配慮事項を調査 (植物、昆虫、水性生物、猛禽 類、等)	砂防えん提計画地付近の 動植物分布の現状を把握 し、事業計画立案に反映さ せる(特に水生動物、植物、 猛禽類重点調査)	場所によっては貴重種が発見さ れ移植等が必要と確認	現地周辺の自然状況、生態 系への負荷を最小限とする 検討資料	環境砂防		
長野県 土木部調査管理係	環境調査	H14	白馬村 楠川	砂防えん提計画地における自 然環境への配慮事項を調査 (植物、水性生物、等)	砂防えん提計画地付近の 動植物分布の現状を把握 し、事業計画立案に反映さ せる(特に水生動物、植物 等重点調査)	場所によっては貴重種が発見さ れ移植等が必要と確認	現地周辺の自然状況、生態 系への負荷を最小限とする 検討資料	環境砂防		
長野県 土木部調査管理係	環境調査	H14	白馬村 日向沢	砂防えん提計画地における自 然環境への配慮事項を調査 (植物、猛禽類、等)	砂防えん提計画地付近の 動植物分布の現状を把握 し、事業計画立案に反映さ せる(特に猛禽類調査重 点)	猛禽類の繁殖地が近いので古巣 調査を重点的に調査。堰堤位置 を下流に変更し、また施工時期に ついて営巣期を避け、負荷を最小 限にするよう検討	現地周辺の自然状況、生態 系への負荷を最小限とする 検討資料	環境砂防		
長野県 土木部調査管理係	環境調査	H14 ~	白馬村 白沢	砂防えん提計画地における自 然環境への配慮事項を調査 (植物、昆虫、水性生物、両生 類、猛禽類、等)	砂防えん提計画地付近の 動植物分布の現状を把握 し、事業計画立案に反映さ せる	場所によっては貴重種が発見さ れ移植等が必要と確認	現地周辺の自然状況、生態 系への負荷を最小限とする 検討資料	環境砂防		
長野県 土木部調査管理係	環境調査	H13 ~	白馬村 北山沢	雪期防護柵計画地における自 然環境への配慮事項を調査・ 保全(植物移植、猛禽定点観 察)	雪期対策計画地付近に保 全すべき貴重種が確認され ているため、事業実施によ る環境負荷の低減を図る	安全対策を検討した 植物移植し生育を確認調査し た。猛禽類、定点観察	現地周辺の自然状況にあつ た計画及び事業の実施	環境砂防		
長野県 土木部調査管理係	環境調査	H14 ~	白馬村 峰方	砂防えん提計画地における自 然環境への配慮事項を調査 (植物、昆虫、水性生物、猛禽 類、等)	砂防えん提計画地付近の 動植物分布の現状を把握 し、事業計画立案に反映さ せる(特に水生動物、植物、 猛禽類重点調査)	場所によっては貴重種が発見さ れ移植等が必要と確認	現地周辺の自然状況、生態 系への負荷を最小限とする 検討資料	環境砂防		
長野県 土木部調査管理係	環境調査	H12 ~	白馬村 楠川	砂防えん提計画地における自 然環境への配慮事項を調査 (植物、水性生物、等)	砂防えん提計画地付近の 動植物分布の現状を把握 し、事業計画立案に反映さ せる(特に水生動物、植物 等重点調査)	場所によっては貴重種が発見さ れ移植等が必要と確認	現地周辺の自然状況、生態 系への負荷を最小限とする 検討資料	環境砂防		

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
長野県 土木部調査管理係	環境調査	H11～	白馬村 日向沢	砂防えん堤計画地における自然環境への配慮事項を調査(植物、猛禽類、等)	文献・現地調査により、自然環境の状況を把握する	砂防えん堤計画地付近の動植物分布の現状を把握し、事業計画立案に反映させる(特に猛禽類調査重点)	猛禽類の繁殖地が近いので古巣調査を重点的に調査。埋没位置を下流に変更し、また施工時期について専門家を呼び、負荷を最小限にするよう検討	現地周辺の自然状況、生態系への負荷を最小限とする検討資料	環境砂防
長野県 土木部調査管理係	環境調査	H14～	白馬村 白沢	砂防えん堤計画地における自然環境への配慮事項を調査(植物、昆虫、水生生物、両生類、猛禽類、等)	文献・現地調査により、自然環境の状況を把握する	砂防えん堤計画地付近の動植物分布の現状を把握し、事業計画立案に反映させる	場所によっては貴重種が発見され移植等が必要と確認	現地周辺の自然状況、生態系への負荷を最小限とする検討資料	環境砂防
長野県 土木部調査管理係	環境調査	H12～	白馬村 月夜沢	砂防えん堤計画地における自然環境への配慮事項を調査(植物、昆虫、猛禽類、等)	現地調査により、自然環境の状況を把握する	砂防えん堤計画地付近の動植物分布の現状を把握し、事業計画立案に反映させる(特に猛禽類調査重点)	保全対策を検討した植物・移植し生育を確認調査した猛禽類・定点観察	現地周辺の自然状況にあった計画及び事業の実施	環境砂防
長野県 土木部調査管理係	環境調査	H12～	白馬村 北股入沢	中野山岳国立公園内の特別保護地区の計画地における自然環境への配慮事項を調査(植物、等)	文献・現地調査により、自然環境の状況を把握する	中野山岳国立公園内特別保護地区であるため、学識経験者の指導を頂き調査対象計画地付近の動植物分布の現状を把握し、事業計画立案に反映させる	移植等を実施	現地周辺の自然状況、生態系への負荷を最小限とする検討資料	環境砂防
長野県 土木部調査管理係	舗道対策検討	H13～	白馬村 北股入沢	試験工モノタリング舗道移動調査	試験舗道工事の状況把握、変移状況、補修計画、歪計等のデータの収集・解析	国立公園内の畜地における施工であり、国内に事例がないため、工法の選定を行い、工法決定の選定資料とする。	現計画にて構造上は対応可能施工性の良い工法の導入の検討について専門家を呼び検討	今後、高山地帯における工法検討の資料として活用	斜面舗道
長野県 土木部調査管理係	雪崩施設 雪圧観測調査	H10～	白馬村 みそら野	雪崩施設の効果調査	現地調査 気象データの整理及び雪圧観測	雪崩発生危険度の高い斜面における積雪の内部状況を把握し、集積雪崩対策施設の計画・設計に反映させる	既存施設への雪圧状況を把握	将来、計画・設計される施設の数値パラメーターを決定する	雪崩
新潟県 土木部砂防課	広谷川環境調査	H15	広谷川	水質調査 底質調査 底生動物調査 魚類調査	表層水・底質・底生生物・魚介類の現地調査	・堰堤のスリット化による環境改善効果の把握 ・堰堤のスリット化に対して配慮が必要となる生物の把握	・スリット化は水質改善に効果あり ・魚介類全般の移動経路の確保に効果がある。	スリット化工事への適用	環境砂防
新潟県 土木部砂防課	滝沢川水質調査	H15	滝沢川	水質調査	河川水採取	堰堤のスリット化による環境改善効果の把握	水質改善がみられた	スリット化工事への適用	環境砂防
新潟県 土木部砂防課	広谷川水質調査	H15	広谷川	水質調査	河川水採取	堰堤のスリット化による環境改善効果の把握	水質改善がみられた	スリット化工事への適用	環境砂防
新潟県 土木部砂防課	常浪川水質調査	H15	常浪川	水質調査	河川水採取	堰堤のスリット化による環境改善効果の把握	水質改善がみられた	スリット化工事への適用	環境砂防
新潟県 土木部砂防課	大滝谷通常砂防魚類調査委託	H15	大滝谷	魚類調査	魚類の生息実態現地調査	堰堤に魚道の設置を検討するために魚類の生息実態を調査する	魚道を利用する可能性のある魚類とこれら魚類の利用に適した形状について整理	類似流れへの適用	環境砂防
新潟県 土木部砂防課	通常砂防(西川魚道調査)委託	H12	西川	魚類調査	魚類の魚道利用状況現地調査	魚道設置による効果を確認する	魚道を利用して魚類の確認	類似流れへの適用	環境砂防

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
新潟県	上越2地区雪崩対策 斜面監視 斜面監視業務委託	H4 ~ H15	北魚沼郡湯 之谷村宇川	現地調査 既存のデータを利用 したシミュレーション	雪崩発生監視装置で得ら れる雪崩発生危険度指数 等と雪崩危険斜面での雪崩 監視結果を解析し、雪崩予 測式の精度検証を行う	雪崩発生の見逃し率の低下が図 られた	精度向上により雪崩避難体 制の支障が可能となる。	雪崩
新潟県	上越2地区雪崩対策 事業積雪深検査証 業務委託	H12 ~ H15	北魚沼郡湯 之谷村宇川	積雪深予測	警戒避難基準の因子であ る積雪深について積雪補正 式による推計値と実測値を 検証する	良好な相関が得られた。	精度向上により警戒避難体 制の支障が可能となる。	雪崩
新潟県	福谷川 魚道調査	H15	福谷川	魚道調査	魚道設置による効果を評価 する	イワナは濁水期であっても増水期 であっても測上する。	類似漂流への適用	環境砂防
新潟県	飯田川魚類生態調 査	H15	折居川(飯 田川右支	魚類調査	魚道設置による効果を評価 する	魚類の測上が確認され、効果の 確認が出来る	類似漂流への適用	環境砂防
新潟県	米山川魚道調査	H15	米山川	魚類調査	魚道設置による効果を評価 する	魚類の測上が確認され、効果の 確認が出来る	類似漂流への適用	環境砂防
新潟県	長浜地区地すべり調 査	H15	長浜地区	現地調査、現位置試 験、解析	急傾斜地法面崩壊による地 すべり発生の誘発	地すべり誘発に結びつくことから 対策が必要	地すべり	
新潟県	川通常砂防事業 猛禽類生態調査	H14 ~ H15	向川	猛禽類(アカオカ 等)の生息状況調査	国内希少種で野生動物 (RDB)の指定を受けている 猛禽類に対し、環境建設が 与える影響の有無や保全 対策の検討を行う。	環境建設付近には繁殖を行っ ている可能性は低い、繁殖初期 (11~12月)にディスプレイが確認 された。	環境建設時期及び建設機 械等の活用	環境砂防
新潟県	樋口地区ほかに雪崩 対策調査(養魚雪崩 発生危険度の判定 における科学的メ ソッドの適用可能性に おける川の水と緑の漂流 づくり調査	H1 ~ H15	西頸城郡 能生町樋口 他2地区	雪崩予測手法の検討	警戒避難体制の支援に向 けた雪崩予測手法の確立 が必要	統計手法による雪崩予測式の 精度向上。 科学的メソッドによる雪崩予測手 法の適用可能性の把握。	警戒避難体制の支援に向 けた雪崩予測式の活用	雪崩
石川県	土木部砂 防課	H15	江沼郡山中 長谷田町	漂流内の魚類・植物の生息調査	砂防施設が与える影響を確認	計画に影響する貴重種無し	砂防施設設計	環境砂防
石川県	土木部砂 防課	H15	小松市金平町	漂流内の魚類・植物の生息調査	砂防施設が与える影響を確認	計画に影響する貴重種無し	砂防施設設計	環境砂防
石川県	土木部砂 防課	H15	石川県河内村 宇成添地内	工事用道路の見直し設計	建設コストの削減	建設コスト削減が可能	工事の進捗を高める	砂防計画
石川県	土木部砂 防課	H15	石川県鶴来町 小柳地内	間工の見直し設計	建設コストの削減	建設コスト削減が可能	工事の進捗を高める	砂防計画
石川県	土木部砂 防課	H15	石川県吉野谷 村宇上野地 内	漂流の環境調査	環境の保全	貴重種の確認	環境保全	環境砂防
石川県	土木部砂 防課	H15	石川県鶴来町 小柳地内	漂流の環境調査	環境の保全	貴重種の確認	環境保全	環境砂防
石川県	土木部砂 防課	H15	石川県鶴来町 小柳地内	環境詳細設計	環境の設計	編製スリットの設計	工事発注	砂防計画
石川県	土木部砂 防課	H15	石川県鳥越村 宇別宮地内	流路二詳細設計の修正	線形の変更及び環境配慮	線形の変更及び環境配慮	工事発注	砂防事業
石川県	土木部砂 防課	H15	石川県河内村 宇福岡地内	取込水路橋補修設計	工事用道路施工に伴う補修設 計	適切な工法の選定	工事発注	砂防事業
石川県	土木部砂 防課	H15	石川県鳥越村 宇若原地内	地すべり安定調査	現地調査及び工法検討	現地調査及び工法検討 今後の整備方針	工事発注	地すべり

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種類 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
石川県 土木部砂防課	若原地すべり対策工事(調査)業務委託(その2)	H15	石川県鳥越村字若原地内	地すべり一般調査	ホーリング調査及び観測	地すべり状況の把握	すべり面の安定	安定の確認	地すべり
石川県 土木部砂防課	駿馬川通常砂防工事(砂防ダムスリット化適地検討)業務委託	H15	石川県鳥越村字上吉谷地内	砂防ダムスリット化適地調査	現地調査	既存施設の有効活用	スリット化が可能	候補地の選定	砂防構造物
石川県 土木部砂防課	駿馬川通常砂防工事(設計)業務委託	H15	〃	管理道路の克直し、法面工修正	ルート見直し、工法検討	建設コストの縮減	適切な工法の選定	工事発注	砂防計画
石川県 土木部砂防課	太田川山砂防工事(設計)業務委託	H15	石川県白峰村字白峰地内	法面工詳細設計	工法検討	斜面の保全	適切な工法の選定	工事発注	砂防計画
石川県 土木部砂防課	白峰地すべり対策工事(調査)業務委託	H15	石川県白峰村字白峰地内	地すべり一般調査及び安定解析	観測及び工法検討	現状把握及び対策工事の計画	今後の整備方針	工事発注	砂防計画
石川県 土木部砂防課	堂の草地すべり対策工事(調査)業務委託	H15	石川県白峰村字白峰地内	地すべり一般調査及び安定解析	観測及び工法検討	現状把握及び対策工事の計画	今後の整備方針	工事発注	地すべり
石川県 土木部砂防課	桑島地すべり対策工事(調査)業務委託(桑島)	H15	石川県白峰村字桑島地内	地すべり一般調査及び安定解析	観測及び工法検討	現状把握及び対策工事の計画	今後の整備方針	工事発注	地すべり
石川県 土木部砂防課	桑島地すべり対策工事(調査)業務委託(水木平)	H15	石川県白峰村字桑島地内	地すべり一般調査及び安定解析	観測及び工法検討	現状把握及び対策工事の計画	今後の整備方針	工事発注	地すべり
石川県 土木部砂防課	滝沢町下急傾斜地崩壊対策工事(設計)業務委託	H15	石川県鶴岡市滝沢町地内	構造物詳細設計	工法検討	斜面の保全	適切な工法の選定	工事発注	斜面崩壊
石川県 土木部砂防課	九折地すべり対策工事(調査)業務委託	H15	河北郡津幡町九折	継続調査	現地観測	現状把握	対策工の決定	安全率の算出	地すべり
石川県 土木部砂防課	村木地すべり対策工事(調査)業務委託	H15	河北郡津幡町村木	継続調査	現地観測	現状把握	対策工の決定	安全率の算出	地すべり
石川県 土木部砂防課	鉢伏ノ母急傾斜地対策工事(設計)業務委託	H15	かほく市鉢伏	詳細設計	設計	比較設計	最適断面の決定	実施設計	急傾斜地
石川県 土木部砂防課	西谷川通常砂防工事(設計)業務委託	H15	河北郡津幡町下河合	詳細設計	設計	比較設計	最適断面の決定	実施設計	砂防
石川県 土木部砂防課	卯辰地すべり対策工事(調査)業務委託	H15	金沢市卯辰町	継続調査	現地観測	現状把握	対策工の決定	安全率の算出	地すべり
石川県 土木部砂防課	卯辰地すべり対策工事(調査)業務委託(その2)	H15	金沢市卯辰町	調査及び観測	現地観測	現状把握	対策工の決定	安全率の算出	地すべり
石川県 土木部砂防課	石引2号急傾斜地対策工事(設計)業務委託	H15	金沢市石引2丁目	詳細設計	設計	比較設計	最適断面の決定	実施設計	急傾斜地
石川県 土木部砂防課	南子谷地すべり対策工事(調査)業務委託	H15	金沢市南子谷町	継続調査	現地観測	現状把握	対策工の決定	安全率の算出	地すべり
石川県 土木部砂防課	田の島地すべり対策工事(調査)業務委託	H15	金沢市田島町	継続調査	現地観測	現状把握	対策工の決定	安全率の算出	地すべり
石川県 土木部砂防課	満願寺地すべり対策工事(調査)業務委託	H15	金沢市雁町	継続調査	現地観測	現状把握	対策工の決定	安全率の算出	地すべり
石川県 土木部砂防課	額谷川通常砂防工事(設計)業務委託	H15	金沢市大領町	詳細設計	設計	比較設計	最適断面の決定(法面)	実施設計	砂防

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種類 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード	
石川県	士木部砂防課	H15	聖川砂防の設計	聖川地区内	設計	既存施設の復旧	施工可能	工法の選定		砂防事業
石川県	士木部砂防課	H15	江森川砂防の調査	聖川地区内	現地調査	自然環境の保全	保全可能	候補地の選定		環境砂防
石川県	士木部砂防課	H15	江森川砂防の設計	聖川地区内	詳細設計	工法の検討	施工可能	工法の選定		砂防構造物
石川県	士木部砂防課	H15	千路大川砂防の調査・設計	羽咋市千路町地区内	現地調査・解析	既存施設の有効活用	修繕可能	工法の選定		砂防構造物
石川県	士木部砂防課	H15	舟子原地すべりの調査・設計	羽咋市舟子原町地区内	現地調査・設計	対策工法の検討	施工可能	工法の選定		地すべり
石川県	士木部砂防課	H15	赤崎急傾斜地の設計	羽咋郡富来町赤崎地区内	設計	工法の検討	施工可能	工法の選定		斜面安定
石川県	士木部砂防課	H15	福浦急傾斜地の設計	羽咋郡富来町福浦地区内	設計	工法の検討	施工可能	工法の選定		斜面安定
石川県	士木部砂防課	H15	中浦急傾斜地の設計	七尾市橋浦町地区内	設計	対策工法の検討	施工可能	工法の選定		斜面安定
石川県	士木部砂防課	H15	福留急傾斜地の設計	七尾市三室町地区内	設計	対策工法の検討	施工可能	工法の選定		斜面安定
石川県	士木部砂防課	H15	和倉急傾斜地の設計	七尾市和倉町地区内	設計	対策工法の検討	施工可能	工法の選定		斜面安定
石川県	士木部砂防課	H15	福本川砂防の設計	鹿島郡鹿西町能登町下地区内	設計	工法の検討	施工可能	工法の選定		砂防構造物
石川県	士木部砂防課	H15	江泊川砂防の調査	七尾市江泊町地区内	現地調査	自然環境の保全	保全可能	候補地の選定		環境砂防
石川県	士木部砂防課	H15	江泊川砂防の設計	七尾市江泊町地区内	設計	工法の検討	施工可能	候補地の選定		砂防構造物
石川県	士木部砂防課	H15	谷内川通常砂工事設計業務委託	福島市形平地区内	現地調査	詳細設計	詳細設計	砂防施設に活用		砂防構造物
石川県	士木部砂防課	H15	谷地川通常砂防工事(設計)業務委託	鳳至郡能都町宮地区内	現地調査	詳細設計	詳細設計	砂防施設に活用		砂防構造物
石川県	士木部砂防課	H15	小生川通常砂防工事(設計)業務委託	鳳至郡柳田村小生地区内	現地調査	詳細設計	詳細設計	砂防施設に活用		砂防構造物
石川県	士木部砂防課	H15	谷内川通常砂工事(調査)業務委託	福島市形平地区内	現地調査	自然環境の把握	動植物移動の検討	生活環境の保全		環境砂防
石川県	士木部砂防課	H15	河内川通常砂工事(調査)業務委託	鳳至郡柳田村河内地区内	現地調査	自然環境の把握	動植物移動の検討	生活環境の保全		環境砂防
石川県	士木部砂防課	H15	上深急傾斜地前縁対策設計業務	珠洲郡内浦町小木地区内	現地調査	詳細設計	詳細設計	急傾施設に活用		急傾構造物
石川県	士木部砂防課	H15	上深急傾斜地前縁対策設計業務	珠洲市大谷町地区内	現地調査	詳細設計	詳細設計	急傾施設に活用		急傾構造物

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
石川県	土木部砂防課	H15	珠洲市折戸町 市内	アンカー引き抜き試験	現地調査	アンカー引き抜き試験	詳細設計	地すべり施設に活用	地すべり
石川県	土木部砂防課	H15	珠洲市折戸町 市内	アンカー付場所打ち法砕石詳細設計	現地調査	地すべり詳細設計	詳細設計	地すべり施設に活用	地すべり
石川県	土木部砂防課	H15	珠洲郡内浦町 時長地内	砂防基本計画詳細再検討	現地調査	砂防基本計画詳細再検討	詳細設計	砂防施設に活用	砂防計画
石川県	土木部砂防課	H15	珠洲郡内浦町 時長地内	水と緑の清流づくり調査	現地調査	自然環境の把握	植物移植の検討	生活環境の保全	環境砂防
石川県	土木部砂防課	H15	珠洲郡内浦町 時長地内	止水処理計画検討	現地調査	グラウト工の詳細設計	詳細設計	砂防施設の設計	砂防計画
石川県	土木部砂防課	H15	珠洲市若山町 大杉地内	水と緑の清流づくり調査	現地調査	自然環境の把握	植物移植の検討	生活環境の保全	環境砂防
石川県	土木部砂防課	H15	鳳至郡穴水町 字大町地内	構壁工詳細設計	現地調査	詳細設計	詳細設計	急傾斜地に活用	急傾斜造物
石川県	土木部砂防課	H15	鳳至郡能登町 字柏木地内	構造物詳細設計	現地調査	詳細設計	詳細設計	急傾斜地に活用	急傾斜造物
石川県	土木部砂防課	H15	鳳至郡御田村 字蓮花坊地内	構壁工詳細設計	現地調査	詳細設計	詳細設計	急傾斜地に活用	急傾斜造物
石川県	土木部砂防課	H15	輪島市浜田町 市内	埋蔵文化財保護を考慮した急傾斜地施設の設計	現地調査	埋蔵文化財保護が必要	埋蔵文化財保護を考慮した急傾斜地施設の設計	他地区でも活用が可能	急傾斜造物
石川県	土木部砂防課	H15	輪島市野野町 広江地内	アンカー付法砕石詳細設計	現地調査	神社境内の樹木の伐採を少なくすることが必要	法砕石で急傾斜地を削り、樹木の伐採を少なくすることが必要	他地区でも活用が可能	急傾斜造物
石川県	土木部砂防課	H15	輪島市大浜町 市内	重力式構壁、モタレ式崩壁詳細設計	現地調査	詳細設計	詳細設計	急傾斜地に活用	急傾斜造物
石川県	土木部砂防課	H15	輪島市三井町 市内	モタレ式崩壁詳細設計、場所打ち法砕石詳細設計	現地調査	詳細設計	詳細設計	急傾斜地に活用	急傾斜造物
石川県	土木部砂防課	H15	輪島市横地町 市内	重力式崩壁詳細設計	現地調査	詳細設計	詳細設計	急傾斜地に活用	急傾斜造物
石川県	土木部砂防課	H15	輪島市大野町 市内	流路工詳細設計	現地調査	地すべり地区であり、軽量化で流路が変動される施設が必要	中密度不リ工レンゲ製の角型リ字溝(波型)で設計し、軽量化及び流路の変動が可能	地すべり地区でも活用が可能	地すべり
岐阜県	建設管理高砂防課	H15	岐阜市・各務原市・一円	岐阜市・各務原市・山麓グリーンプール整備基本構想策定	本市区の関連事業の情報を収集し、関連施設と調整を行いながら整備構想を策定する。	都市山麓への無秩序な、宅地開発等が災害を助長させておられ、一連区域の緑地帯の保全育成の形成により、土砂災害に強い環境を整備するための整備構想を策定する、必要がある。	整備基本構想案まで作成したため、今後、協議会・委員会をとって決定する。	これからの、本区域の各機関における、整備事業を構想に即した形で計画をする。	グリーンベルト
岐阜県	建設管理高砂防課	H15	岐阜市・各務原市・山麓グリーンプール	山火事跡地森林再生回復調査	航空写真や既存資料を入手し現地調査を行い、森林の回復状況や植生変化を把握し、学識経験者の監修を行う。	山火事により、植生が破壊され、土砂災害の流出防止の観点から、植生を守るために、如何にしたら、森林再生の手助けになるか、学識経験者の監修を行う必要がある。	今後、継続調査をしてからの結論と、植生回復のための手法とする。又、ボランティアによる植生活動に寄与する。今後の山火事の発生時に、本マニュアルを活用する。	砂防指定区域内における、緑化のための手法とする。又、ボランティアによる植生活動に寄与する。今後の山火事の発生時に、本マニュアルを活用する。	緑化



平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種類別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
岐阜県	建設管理 局砂防課	H15	本巣郡本巣 町日当	平成15年度の調査の種類別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む) 魚道の遡上調査	既存魚道にトラップを設け、遡上する魚の種類、数を流量観測化をもたせながら観察する。	平成13年度に改造設置した魚道の効果を、改良改造後の魚道を比較する。また今後の魚道設計の参考とするため。	天然鮎、その他多様な魚種が確認できたが、上流部の手口に、流水などのゴミが溜まり魚道に阻害が認められた。	魚道の改善資料として活用する。今後の魚道設計に反映させる。	砂防構造物
岐阜県	建設管理 局砂防課	H15	岐阜御望	地下水位調査、降雨量観測、湧水調査、植生調査、解析	平成9年～13年度までの施工した地下水掘削工の効果を、地盤の現況を調査する。	地下水掘削の効果を確認し、地盤の現況を把握し、今後の設計に活用する。	集水ポーリングによる、地下水の低下が立証された。松枯れの現況が確認された。	地元の住民に説明を計画し、実施にとりかかった。	斜面崩壊
岐阜県	建設管理 局砂防課	H15	飛騨市河合 町二ツ屋地 内二ツ屋 谷吉城郡 上室村農耕 地内白木谷	魚道の遡上調査	天然魚、養魚類による魚の遡上確認	床固工に設置した魚道の効果を確認するため	魚道が有効であることを確認	魚道の設計資料として活用	砂防構造物
岐阜県	建設管理 局砂防課	H15	関市神野藤 谷川	ホタル生息調査	発光生息時間帯の個体数を確認する。	藤谷川におけるホタルの生息状況を把握し自然環境の適正を保全するため	関市本川は6月上旬と中旬の調査では約1千個体が確認。7月上旬には約50個体を確認	ダム工事発注時期の設計資料	砂防事業
岐阜県	建設管理 局砂防課	H15	郡上市明室 大谷	魚道の遡上調査	養魚魚を使用した場合の遡上の可否及び遡上率の調査	床固工に設置した魚道の効果を確認するため	魚道が有効であることを確認	魚道の設計資料として活用	砂防構造物
岐阜県	建設管理 局砂防課	H15	揖斐郡池田 町大字願成 寺大津谷	・埋体の珪藻土試験 ・電気探査(水平探査) ・水質調査 ・河川流量調査	ホーンパイルによる現場透水試験、比抵抗法水質調査(7項目) Ca、Mg、Na、K、Cl、SO4、HC O3 断面法	埋体の漏水、埋内の湧水が有るため、地下水体分の補完推定するため、河川水、地下水、湧水の関係を確認するため。	埋体の透水係数状況が判明。地下水の補完推定、河川水、地下水、湧水の関係を推定、水量差に大きな差はない。	天井川の掘込河道化を計画 掘込計画に活用 天井川の掘込河道化を計画	砂防事業
岐阜県	建設管理 局砂防課	H15	茂郡白川 町上佐原地 内伊佐谷	魚道遡上調査	養魚魚を対象とした魚道遡上調査、夜間及び夕暮時による捕獲調査及び目視確認。生息環境調査(流量、流速、水温)	平成12～13年度に設置した魚道について、遡上調査を実施することにより、河川の営みの中で生じる課題及び効果を確認することを目的とする。	構造方向折返し型階段式魚道の評価は、遡上率は良好であると判断された。流量調整設備でないため、等流上が容易ではない。越流水が滞留している。流入部の水深が浅く、大型魚等が遡上できない。	魚道の設計の資料として活用	砂防構造物
岐阜県	建設管理 局砂防課	H15	大野郡雲村 濃瀬	猛禽類(ヤマカガシ)の生息調査	目視によるヤマカガシの有無、活動範囲調査	工事による猛禽類への悪影響を防ぐため	H14に確認されず、工事の影響はなし	工事の影響なしと判断し、着工した。	砂防事業
愛知県	建設部砂 防課	H14～	砂防基本計画 作成支援 システムを用いた砂 防基本計画の作成 おこなう(一)	①土砂量調査 ②システムを用いた土砂処理 計画及び施設配置計画の作成	水系単位での土砂量調査、計量把握、事業実施計画を作成する	H15からH19に現地調査を実施し、土砂量を把握し、随時システムに入力予定。	砂防計画		
三重県	県土整備 部砂防室	H15	員弁川 ・西之戸川 ・小滝川	砂防設備による土砂流対策(ハード対策)と警戒避難の支援による土砂流対策(ソフト対策)の検討 (H14検討成果の検証)	現地調査 ・空中写真判読 ・土砂移動移動 ・車載の分析 ・土砂流発生 降雨の分析	流域内での土砂処理が困難、土砂流が頻発する土砂流危険渓流での対策手法である。	H14に検討した施設配置(除石を考慮)のあり方、警戒避難基準(CLとタンクモデルの併用)の妥当性が確認され、運用面から一部基準を変更した。	土砂流対策計画の策定 藤原町(現、いなべ市)における警戒避難の支援	土砂流対策 警戒避難基 準

平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種別 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
鳥取県	土砂災害情報相互通報システム整備事業 地すべり調査	H15	鳥取県全域	警戒避難基準雨量等の検討 地すべり調査	後討缶を設置 地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	警戒避難行動等の基準を定めるため 調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している	基準(案)を作成、後討缶で検討する	土砂災害警戒情報の作成・発信に活用 対策事業実施において活用している	警戒避難
愛媛県	土本郡港湾局砂防課	H15 ~ 24	茅野地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している	調査箇所により結果は様々である	対策事業実施において活用している	地すべり
愛媛県	土本郡港湾局砂防課	H11 ~ 16	瓜生野地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している	調査箇所により結果は様々である	対策事業実施において活用している	地すべり
愛媛県	土本郡港湾局砂防課	H10 ~ 17	平野山地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している	調査箇所により結果は様々である	対策事業実施において活用している	地すべり
愛媛県	土本郡港湾局砂防課	H8 ~ 16	中地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している	調査箇所により結果は様々である	対策事業実施において活用している	地すべり
愛媛県	土本郡港湾局砂防課	H2 ~ 16	浜渡地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している	調査箇所により結果は様々である	対策事業実施において活用している	地すべり
愛媛県	土本郡港湾局砂防課	H14 ~ 15	段地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している	調査箇所により結果は様々である	対策事業実施において活用している	地すべり
愛媛県	土本郡港湾局砂防課	H9 ~ 19	上黒岩地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している	調査箇所により結果は様々である	対策事業実施において活用している	地すべり
愛媛県	土本郡港湾局砂防課	H8 ~ 20	大谷地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している	調査箇所により結果は様々である	対策事業実施において活用している	地すべり
愛媛県	土本郡港湾局砂防課	H13 ~ 17	仕出地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している	調査箇所により結果は様々である	対策事業実施において活用している	地すべり
愛媛県	土本郡港湾局砂防課	S50 ~ 15	西の谷地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している	調査箇所により結果は様々である	対策事業実施において活用している	地すべり
愛媛県	土本郡港湾局砂防課	H14 ~ 20	相ノ峰地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している	調査箇所により結果は様々である	対策事業実施において活用している	地すべり
愛媛県	土本郡港湾局砂防課	H15 ~ 21	佐賀畑地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している	調査箇所により結果は様々である	対策事業実施において活用している	地すべり

## 平成15年度に実施した砂防関係調査リスト

調査機関名	調査名	調査期間	調査区域	平成15年度の調査の種類 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む)	調査の方法	調査の必要性	調査結果	調査の活用	キーワード
愛媛県 土木部港 湾局砂防 課	地すべり調査	H1 ~ 16	千町地区	平成15年度の調査の種類 (平成15年度以前から行っている継続のものも含む) 地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している。	調査箇所により結果は様々である。	対策事業実施において活用している。	地すべり
愛媛県 土木部港 湾局砂防 課	地すべり調査	H11 ~ 16	市之川地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している。	調査箇所により結果は様々である。	対策事業実施において活用している。	地すべり
愛媛県 土木部港 湾局砂防 課	地すべり調査	H6 ~ 15	奥西地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している。	調査箇所により結果は様々である。	対策事業実施において活用している。	地すべり
愛媛県 土木部港 湾局砂防 課	地すべり調査	H10 ~ 17	中当地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している。	調査箇所により結果は様々である。	対策事業実施において活用している。	地すべり
愛媛県 土木部港 湾局砂防 課	地すべり調査	H15 ~ 24	若山地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している。	調査箇所により結果は様々である。	対策事業実施において活用している。	地すべり
愛媛県 土木部港 湾局砂防 課	地すべり調査	H14 ~ 19	高野地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している。	調査箇所により結果は様々である。	対策事業実施において活用している。	地すべり
愛媛県 土木部港 湾局砂防 課	地すべり調査	H12 ~ 21	枇杷谷地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している。	調査箇所により結果は様々である。	対策事業実施において活用している。	地すべり
愛媛県 土木部港 湾局砂防 課	地すべり調査	H11 ~ 15	中峰地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している。	調査箇所により結果は様々である。	対策事業実施において活用している。	地すべり
愛媛県 土木部港 湾局砂防 課	地すべり調査	S63 ~ 15	名取地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している。	調査箇所により結果は様々である。	対策事業実施において活用している。	地すべり
愛媛県 土木部港 湾局砂防 課	地すべり調査	H11 ~ 16	平磯地区	地すべり調査	地下水位計、伸縮計、傾斜計、孔内傾斜計、ハブ歪計等を用いて地すべり調査を行う	調査結果により斜面の安定解析や対策工法の検討を行い、対策事業を実施している。	調査箇所により結果は様々である。	対策事業実施において活用している。	地すべり
愛媛県 土木部港 湾局砂防 課	鳥類調査	H14 ~	兼師谷川	砂防調査	環境調査	景勝地に至近のため	猛禽類のうち、ハヤブサの繁殖・営巣活動の把握	施工中及び施工後にモニタリングを実施する際の基礎資料とする。	環境砂防
愛媛県 土木部港 湾局砂防 課	鳥類調査	H15	ダム計画位置 付近	砂防調査	環境調査	景勝地に至近のため	猛禽類のうち、ハヤブサの繁殖・営巣活動の把握	施工中及び施工後にモニタリングを実施する際の基礎資料とする。	環境砂防

## 2. 参加者名簿



第一分科会「山地流域における土砂移動実態を考慮した砂防計画について」

参加者数:28名

No.	氏名	所属・役職
1	渡邊 茂	国土交通省河川局砂防部砂防計画課課長補佐
2	春日 慶一	国土交通省北海道開発局帯広開発建設部治水課・砂防係長
3	舟山 太一郎	国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所調査課砂防調査係長
◎	4 椎葉 秀作	国土交通省関東地方整備局河川部建設専門官
5	川上 明	国土交通省関東地方整備局利根川水系砂防事務所調査課専門員
6	庄司 剛	国土交通省関東地方整備局日光砂防事務所調査課技官
7	林 孝標	国土交通省関東地方整備局富士川砂防事務所調査課課長
8	武笠 裕美	国土交通省関東地方整備局富士川砂防事務所調査課総合土砂管理係長
9	小泉 豊	国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所調査課専門員
10	中谷 洋明	国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所流域対策課長
11	石田 哲也	国土交通省北陸地方整備局神通川水系砂防事務所調査課調査係員
12	荒川 哲郎	国土交通省北陸地方整備局黒部河川事務所調査課専門員
13	久内 忠	国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所調査課調査係長
14	酒井 哲也	国土交通省近畿地方整備局木津川上流河川事務所工務第二課計画係長
15	野村 利己	国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所工務第一課砂防係長
16	白石 隆	国土交通省四国地方整備局河川部河川計画課調査第二係長
17	与那嶺 淳	国土交通省九州地方整備局河川部河川計画課総合土砂災害対策係長
18	遠山 玄郎	国土交通省九州地方整備局川辺川ダム砂防事務所工務第二課長
19	衛藤 正裕	国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所工務第二課専門職
20	小山 栄樹	長野県土木部砂防課砂防係主任
21	若松 昭彦	鹿児島県土木部砂防課砂防係技術主査
○	22 水野 秀明	国土交通省国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター砂防研究室主任研究官
23	原榎 利幸	国土交通省国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター砂防研究室交流研究員
○	24 田中 秀基	独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ火山・土石流チーム主任研究員
25	山越 隆雄	独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ火山・土石流チーム研究員
26	田方 智	独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ火山・土石流チーム交流研究員
27	野村 康裕	独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ地すべりチーム研究員
28	秋山 一弥	独立行政法人土木研究所新潟試験所主任研究員

◎:座長 ○:副座長

第二分科会「環境に配慮した砂防施設計画のポイントについて」

参加者数:22名

No.	氏名	所属・役職
1	光永 健男	国土交通省河川局砂防部保全課課長補佐
◎ 2	齊藤 仁史	国土交通省北海道開発局建設部河川計画課計画第三係長
3	岡田 昌俊	国土交通省北海道開発局石狩川開発建設部計画課砂防専門官
4	小葉松 建生	国土交通省北海道開発局帯広開発建設部帯広河川事務所工務課砂防係長
5	吉田 桂治	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所調査第一課長
6	笠原 治夫	国土交通省関東地方整備局河川計画課総合土砂災害対策係長
7	本多 繁	国土交通省関東地方整備局日光砂防事務所調査課調査係長
8	守谷 武史	国土交通省関東地方整備局渡良瀬川河川事務所砂防調査課調査係長
9	大浦 二郎	国土交通省関東地方整備局富士川砂防事務所調査課調査係長
○ 10	上原 信司	国土交通省北陸地方整備局河川部建設専門官
11	吉野 隆之	国土交通省北陸地方整備局神通川水系砂防事務所調査課調査係長
12	亀山 岳雄	国土交通省北陸地方整備局飯豊山系砂防事務所調査課調査係長
13	山本 一兆	国土交通省中部地方整備局越美山系砂防事務所調査課調査係長
14	清水 善浩	国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所工務第三課工務係
15	塩山 敦	国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所工務第一課砂防係主任
16	与那覇 忍	沖縄総合事務局開発建設部河川課水資源開発調整官
17	滝沢 勉	山梨県砂防課副主幹
18	上坂 展弘	富山県砂防課砂防係長
19	林 紀洋	愛知県建設部砂防課企画・砂防グループ
20	島津 泰士	岡山県土木部砂防課技術班
21	筋野 真知子	国土交通省国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター砂防研究室研究官
22	福嶋 彩	国土交通省国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター砂防研究室研究官

◎:座長 ○:副座長

第三分科会「土砂災害情報提供と警戒避難について」

参加者数:38名

No.	氏名	所属・役職
1	小林 幹男	国土交通省河川局砂防部砂防計画課課長補佐
2	前 孝年	国土交通省北海道開発局石狩川開発建設部計画課第2計画係係員
3	長原 融	国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部治水課砂防係長
4	伊藤 仁規	国土交通省東北地方整備局河川部河川計画課技官
5	古山 一志	国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所調査第一課砂防係長
6	宮崎 勝巳	国土交通省関東地方整備局地域河川課整備第二係長
7	渡邊 一成	国土交通省北陸地方整備局河川部地域河川課整備第二係長
8	奥井 淳	国土交通省北陸地方整備局立山砂防事務所調査課専門調査員
9	品田 芳明	国土交通省北陸地方整備局黒部河川事務所工務課砂防係長
10	中島 康支	国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所砂防調査課調査係長
11	平松 健	国土交通省近畿地方整備局河川部河川計画課総合土砂災害対策係長
○	12 山内 政己	国土交通省中国地方整備局河川部建設専門官
◎	13 判田 乾一	国土交通省九州地方整備局河川部建設専門官
14	原田 隆二	国土交通省九州地方整備局河川部地域河川課整備第一係長
15	木崎原 康一	国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所調査第二課 砂防調査係長
16	水田 貴夫	国土交通省九州地方整備局雲仙復興事務所調査課専門員
17	梁瀬 秀樹	神奈川県砂防海岸課主任技師
18	荻窪 孝	長野県土木部砂防課調査管理係主任
19	山内 孝信	新潟県土木部砂防課企画調査係 主任
20	瀬川 裕之	石川県土木部砂防課技師
21	中村 和大	岐阜県砂防課
22	大川 五朗	静岡県砂防室土砂災害対策スタッフ
23	中村 政隆	京都府土木建築部砂防課
24	荻田 充祥	大阪府土木部河川室ダム砂防課主査
25	舟津 修亮	島根県土木部砂防課主幹
26	檜 新太郎	徳島県砂防防災課技師
27	大串 豊	佐賀県河川砂防課砂防係
28	寺中 孝	長崎県土木部砂防課砂防班技師
29	福山 茂	熊本県土木部砂防課砂防第二係
30	大山 寿郎	鹿児島県土木部砂防課傾斜地保全係土木技師
31	高良 亨	沖縄県土木建築部河川課砂防係
32	野呂 智之	国土交通省国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター砂防研究室主任研究官
33	倉本 和正	国土交通省国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター砂防研究室交流研究員
34	伊藤 禎将	独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ火山・土石流チーム交流研究員
35	浅井 健一	独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ地すべりチーム主任研究員
36	鈴木 将之	独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ地すべりチーム研究員
37	丸山 清輝	独立行政法人土木研究所新潟試験所主任研究員
38	小嶋 伸一	独立行政法人土木研究所新潟試験所主任研究員

◎:座長 ○:副座長



第四分科会「アカウントビリティ、効果的な事業説明手法について」

参加者数:20名

No.	氏名	所属・役職
○ 1	植野 利康	国土交通省河川局砂防部保全課課長補佐
2	佐々木 寿幸	国土交通省北海道開発局旭川開発建設部治水課砂防専門官
3	大西 喜夫	国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所建設監督官
4	松尾 聡	国土交通省関東地方整備局河川計画課総合土砂災害対策係
5	狩野 豊	国土交通省関東地方整備局渡良瀬川河川事務所砂防調査課長
6	三上 博武	国土交通省北陸地方整備局湯沢砂防事務所調査課専門員
7	宮島 邦康	国土交通省北陸地方整備局阿賀野川河川事務所調査課洪水予報係長
○ 8	綱川 浩章	国土交通省中部地方整備局河川部建設専門官
9	阿部 聡	国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所調査課調査係長
◎ 10	吉野 睦	国土交通省近畿地方整備局河川部建設専門官
11	近藤 康由	国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所工務第三課工務係長
12	高木 敦史	国土交通省近畿地方整備局木津川上流河川事務所工務第二課計画係
13	古田 拓志	国土交通省中国地方整備局河川部河川計画課調査第二係
14	大櫃 剛	国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所工務第二課第三工務係長
15	西村 志真子	兵庫県県土整備部土木局砂防課砂防係
16	田口 修治	福岡県土木部砂防課主任技師
17	清水 孝一	国土交通省国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター砂防研究室主任研究官
18	柳原 幸希	国土交通省国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター砂防研究室研究官
19	三雲 是宏	独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ火山・土石流チーム交流研究員
20	吉田 克美	独立行政法人土木研究所新潟試験所主任研究員

◎:座長 ○:副座長

第五分科会「砂防施設設計、施工段階のコスト縮減対策の取り組みについて」

参加者数:34名

◎

○

○

No.	氏名	所属・役職
1	加藤 仁志	国土交通省河川局砂防部保全課企画専門官
2	小川 直樹	国土交通省北海道開発局建設部河川工事課ダム・砂防係長
3	星 正光	国土交通省北海道開発局石狩川開発建設部札幌河川事務所第2工事課砂防建設係長
◎ 4	齋藤 信哉	国土交通省東北地方整備局河川部建設専門官
5	我妻 信也	国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所調査課砂防調査係技官
6	小島 宏一	国土交通省関東地方整備局河川工事課砂防係長
7	入澤 秀和	国土交通省関東地方整備局利根川水系砂防事務所長野原出張所技術係長
8	萩原 節	国土交通省関東地方整備局富士川砂防事務所建設監督官
9	小飯塚 哲郎	国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所工務課設計係長
10	村中 俊久	国土交通省北陸地方整備局湯沢砂防事務所工務課工務係長
11	牛澤 秀光	国土交通省北陸地方整備局立山砂防事務所工務課工務係長
12	山路 広明	国土交通省北陸地方整備局飯豊山系砂防事務所工務課工務係長
13	近藤 栄一	国土交通省北陸地方整備局阿賀野川河川事務所工務第二課工務第二係長
14	垣内 伸夫	国土交通省中部地方整備局静岡河川事務所工務課工務第二係長
15	大森 徹治	国土交通省中部地方整備局越美山系砂防事務所工務課設計係長
16	楠田 建夫	国土交通省中国地方整備局倉吉河川国道事務所工務第一課専門職
○ 17	白川 勝	国土交通省四国地方整備局河川部建設専門官
18	古林 正博	国土交通省四国地方整備局四国山地砂防事務所工務課工務係長
19	宮元 洋	国土交通省九州地方整備局河川部河川工事課砂防係長
20	高瀬 勇樹	国土交通省九州地方整備局川辺川ダム砂防事務所工務第二課工務係
21	堂上 淳司	国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所工務第二課 砂防工務係長
22	羽田 史郎	国土交通省九州地方整備局雲仙復興事務所砂防課設計係長
23	乙部 智明	岩手県県土整備部砂防災害課砂防担当主任
24	千葉 満	宮城県土木部砂防水資源課
25	宮田 賢一	福島県土木部河川港湾領域砂防グループ
26	山名 慶和	三重県砂防室砂防整備グループ技師
27	前田 善一	滋賀県砂防課副主幹
28	藤原 新	山口県砂防課砂防保全班主任技師
29	阿部 智博	徳島県日和佐土木事務所工務課河川砂防係技師
30	曾我部 匡敏	国土交通省国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター砂防研究室交流研究員
31	武澤 永純	独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ火山・土石流チーム研究補助員
32	土井 康弘	独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ火山・土石流チーム専門研究員
○ 33	石井 靖雄	独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ地すべりチーム主任研究員
34	江田 充志	独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ地すべりチーム交流研究員

◎:座長 ○:副座長



### 3. アンケートの結果

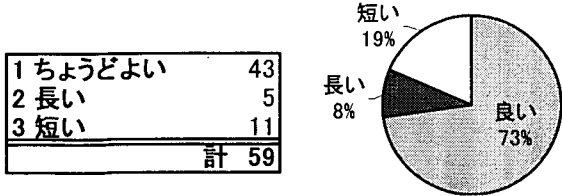


# アンケート集計結果概要

参加者総数 150名 (第1分科会:28 第2分科会:22 第3分科会:38 第4分科会:20 第5分科会:34)  
 アンケート回答者数 59 (第1分科会: 8 第2分科会: 9 第3分科会:18 第4分科会: 6 第5分科会:14)

## 1. 分科会の内容に関するアンケート

①分科会の時間を5時間(1日目2時間、2日目3時間)設けましたが、時間配分は如何でしたか。



### 【理由】

#### 1 ちょうどよい

- ・議論をふくらし、一定の結論を得るにはこの程度は必要。かけ足ではあるが、一通りの議論が出来
- ・ちょうど良いが、時間配分を考えてもらいたい。1日目の半日を分科会にしても良いと思
- ・2日に分けることで、議論が集中することが出来たと思う。
- ・事前のアンケートを整理され、座長が上手にコーディネートされたので、丁度良い時間配分だったが、整理がないと時間の余裕がないと思われる。座長をはじめ、事前仕事が多かったのでは？

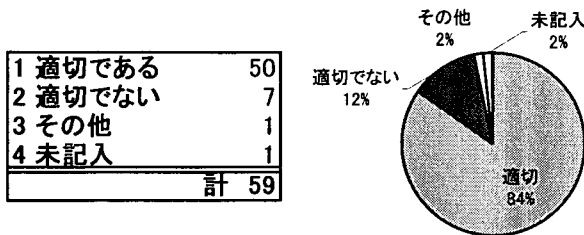
#### 2 長い

- ・各班に分かれてのプレーストリーミング方式での討論については、全員参加が出来て大変有意義なものになった。ただ、事例紹介を含めて5時間は疲れる。
- ・論点をしぼり、集中的な議論をしてはどうか。3~4時間程度で良い。

#### 3 短い

- ・事例紹介、分科会の説明などに時間が掛かりすぎていて、議論の時間が短く、とりまとめや問題抽出が十分に行えない状態だと感じた。可能な限り、事例紹介などは初日、2日目は議論中心が良いのでは？
- ・事例紹介的な発表にほとんど時間を要し、それに対する検討の時間が短かった。
- ・課題の内容をもう少し絞り込んでほしかった。議事内容に対して時間が短い。あと、1時間は必要。
- ・出席者全員が何か発言できるよう、もう少し余裕があった方がよい。

②分科会のテーマの設定は如何でしたか。



### 【理由】

#### 1 適切である

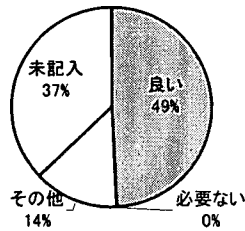
- ・それぞれタイムリーなテーマであったと思う。砂防の抱える現状課題にマッチしていた。分科会を増やしても良いのでは？
- ・本省(中央)で問題となっている課題がわかりやすくよいと思う。
- ・直面して問題であり、とても参考になった。実務に対応できる。
- ・各担当者の苦勞している内容を把握できるものであった。
- ・県としても懸案となっているテーマだった。
- ・今後ソフト対策を進めるにあたって、情報の提供や伝達、それに基づく避難等の最重要な課題である。
- ・土砂災害情報提供の議論は地域づくり、地域の安全確保に直結する内容で、重要な議論であった。
- ・今年度、全国で頻発していた土砂災害の対策として、ソフト対策は早期に効果が発現できると期待でき、そういった話題を研究するのは有効である。
- ・建設行政を担当しているものとして、説明責任は必ずつきまとうものであり、体験できて良かったと思う。
- ・テーマの設定は適切であるが、もうちょっと絞り込みを行って欲しい。

#### 2 適切でない

- ・都道府県が必要としている問題もテーマの中に入れて欲しい。
- ・砂防指定地、6条及び2条区域において利活用(占用)などの管理区分を明確にするため、管理マニュアルを作成する必要がある。よって、管理についての分科会が必要と思われる。
- ・情報系の話と基礎調査の話は別にした方がよい。これだけソフト事業が大きくなってきているので、参加者の方ももっと掘り下げて話を聞きたいと思う。

③講師のアドバイスを頂きながら進める分科会の運営方法、また講師を招かず進める分科会の運営方法についてご意見・ご感想をお書きください。

1 良い、適切	29
2 必要ない	0
3 その他	8
4 未記入	22
計 59	



**【意見】**

**1 良い、適切**

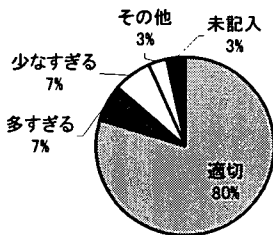
- ・講師のアドバイスは有効で、事例紹介は非常に参考になったので、来年度も実施して欲しい。
- ・講師を招くと、講師より問題提起がなされるので、討議が活発化しやすいし、安心して議論に集中できる。
- ・体験者(当事者)の貴重な話が聞けて有意義である。
- ・講師を招く方針は非常に良いと思う。理解しやすくなるし、違った観点から物事を見るきっかけとなる。
- ・グループ討議は全員が発言でき有意義。
- ・最新の情報を得ることができ、参加して良かった。分科会の中については、いろんな組立て方があってよいと思う。(活発な議論を展開する上では必要)
- ・現場の生の声を聞くことが出来て非常に良かった。
- ・多くの意見ややり方をお書きするのは賛成。同じ考え方の人間ばかりでは、偏ってしまうから。

**3 その他**

運営方法には特に問題ないと思うが、討論時間はもう少し余裕をもったほうがよい。災害対応マニュアルは実際具体的なマニュアルを用いて、それを改善するような議論、問題提言を行い、マニュアルの鏡を作成するような運営はどうか。例えば、熊本県水俣市のマニュアルを基に各機関と比較してより使いやすいマニュアルを作成するなど。講師は理想論を中心に話すのなら必要ない。実際事業を行う上での問題点や運営方法を聞く方が身

④議論の円滑化を目的に、出席者人数を制限させて頂きましたが如何でしたでしょうか。

1 適切である	47
2 多すぎる	4
3 少なすぎる	4
4 その他	2
5 記入無し	2
計 59	



**【理由】**

**1 適切である**

- ・人数が多いと意見が出し難い雰囲気になりやすいと思うので、今回程度がよい。
- ・参加した分科会では、お互いに顔の見える人数であり、特に問題なかった。全体会議でも、スクリーンも見やすく、丁度良い。
- ・討議しやすい人数であった。
- ・少人数で全員が意見を話せるので。
- ・適切であるが、時間が短かったため全員の意見は聞けなかった(参考事例として聞くには妥当な人数だったと思う)。
- ・ある程度人数を決めないと、議論がまとまらないと思います。
- ・最低必要限度は確保されていたと思うし、議論の円滑化を考慮するとやむを得ない人数だったと思う。
- ・特に制限がなく、多くなっても問題はないと思う。
- ・分科会の人数は適切であるが、各事務所でもっと参加したい人が多いのも事実です。
- ・顔の見える距離にして欲しかったこともあるが、全国の事例を聞くには適当な人数配分でしょう。
- ・人数があまり多すぎても、議論にならず、又、少なくとも議論にならないが、ある程度の人数が必要であり、今回は適切と思われる。テーマによって人数のアンバランスは仕方ないと思う。
- ・分科会の人数は多い少ないでなく、個々の問題提起できる人、課題に興味のある人、疑問点のある人が出席し、発言した方が質の高い会議ができるし、解決策や今後の検討課題も素早くできると思う。

**2 多すぎる**

- ・十分な意見を引き出すには少数、10名+αくらいでは。
- ・論出来る時間も短すぎるので、もっと人数を減らした方がよい(地整レベル)。なぜなら、防災システムなどの議論なども運営上の問題などを提案し、他県などの意見などを参考にし、より使いやすい防災システムを作成したいため。

**3 少なすぎる**

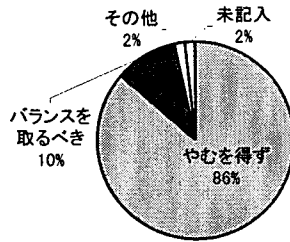
- ・出席者人数を制限せず、より多くの方向でいってほしいと思います。

**4 その他**

- ・制限をする必要はないと思う。人数が多いと議論が必ずしも発散するとは限らない。各人が最も興味がある(考えのある)テーマを選んで参加できないと意味がない。(色々な知識を持った方がいると議論自体も深まる)また、口の字型で会議をする必要も無いと思う。クラス型で十分では。
- ・関係ない。討論する人数はどちらにしても自然に5~10人になるので。

⑤本年度は分科会参加者の希望に添うべく、原則として第一希望の分科会に参加していただくように致しましたが、その結果分科会によって人数にアンバランスが生じました。このような分科会参加者の設定は如何ですか。

1 やむを得ない	51
2 分科会ごとの参加者のバランスを取るべき	6
3 その他	1
4 記入無し	1
計	59



【理由】

1 やむを得ない

- ・制限をする必要はないと思う。人数が多いと必ずしも議論が発散するとは限らない。各人が最も興味がある(考えのある)テーマを選んで参加できないと意味がない。(色々な知識を持った方がいると議論自体も深まる)また、口の字型で会議をする必要も無いと思う。クラス型で十分では。
- ・バランスを考えて、優先するのであれば、あらかじめ設定されたWGと変わらないと思う。事務局が問題としていること、参加者が積極的に話題提供や意見を出しやすい会議にするためには、人数のバランスが崩れても仕方がない。
- ・知識がない分科会参加を回避できる。希望外だと担当していない分野であるかもしれない。
- ・希望の分科会に配属すべき。希望以外の分科会では、議論が活発化されない。
- ・各自治体でかかえている課題の中で、第一希望のものがやはり気に掛けているものなので、優先して頂いたことはよかったと思うし、やむを得ないのではないかと思います。
- ・参加者への希望は、即ち問題意識への表れであり、興味(業務的?)がある分科会に参加することにより、議論が活性化するであろうし、持ち帰る成果も大きくなると思う。
- ・分科会の人数は多い少ないでなく、個々の問題提起できる人、課題に興味のある人、疑問点のある人が出席し、発言した方が質の高い会議ができるし、解決策や今後の課題も素早く検討できると思う。
- ・アンバランスは今回程度であれば問題ないと思う。あまりに極端になった場合は、調整の必要はあると考える。

2 分科会ごとの参加者のバランスを取るべき。

- ・他の分科会がどのように進められたのかわからないが、第3、第5分科会の人数が多く、個々の発言の場が十分に与えられていたかどうか疑問がある。
- ・別の分科にも参加したかったと思う。人が多すぎる。一つの話題について各人の意見をもっと聞きたい。

⑦今後、分科会で取り上げるテーマでご希望がありましたらお書きください。

連携

- ・隣接する河川、ダム、治山関連事業との調整のケーススタディ。
- ・省庁連携の話(なんでも施策と行おうとした場合、他地域(他省庁)の縄張範囲になると手続き等において時間がかかる場合が多い)。

地すべり  
災害対応  
計画

- ・他機関、例えば気象庁の方の意見も聞いてみたら、より良くなるのではないだろうか。
- ・砂防における地すべりの扱いについて
- ・災害に対するそなえや被災後の対応。
- ・住民参加型の砂防計画
- ・火山砂防計画について。

ソフト

- ・直轄事業の都道府県への引き継ぎについて(→どこまで整備するのか)・ハードとソフトのバランス。
- ・土砂災害情報提供。
- ・砂防に関する広報活動事例。



## 2. 砂防研究報告会全般について

### ①講演の話題として聞いてみたいテーマもしくは講演者がありましたらお書きください。

- |      |  |
|------|--|
| 災害   | ・ 災害時の対応(たとえば、実際の災害の対応を例として)。<br>・ 浅間山の噴火についての話題。  |
| 地域住民 | ・ 自主防災組織の先進的な事例紹介(組織の人による)。<br>・ 一般住民の話し(災害体験者)。<br>・ 住民への説明責任・説明方法。   |
| 計画   | ・ 除石を考慮した砂防計画の事例、手法<br>・ 新砂防計画。<br>・ 土石区間、掃流区域内の土砂収支に関する講演。  |
| その他  | ・ 業務効率を上げてくれるような講演・講話。<br>・ 直轄砂防の将来像→直轄は災害時にチームを組んで復旧事業に当たり、普段は県に席を置けば良<br>・ 今後の砂防事業の展開について。<br>・ 既設堰堤の高上げの事例。<br>・ 現場の生の声が聞きたい。 |
- 講演者について
- ・ 講演に大学関係も入れても良いのでは
  - ・ 太田猛彦先生・桜井善雄先生・福留？先生(多自然・近自然型工法の第1人者)
  - ・ 地域経済学の専門家や開発経済学の専門家、財政学の専門家等。(宮本憲一、神野直彦、宇
  - ・ 今回のNHKの方と同様でマスコミ関係者(TV、新聞等)からの講演等は有意義ではないかと考える。

### ②砂防調査の紹介で印象に残った課題とその感想についてお書きください。

#### 【感想等】

##### 新工法を活用した砂防施設の評価検討

- ・ 実験に基づく砂防ソイルセメントの特性が分かりやすくまとまっており、利用、選定フローまでまとめているのが興味深かった。
- ・ これからの砂防堰堤は、環境への負荷を軽減するためにも、現地発生材を活用することが有効であ
- ・ 砂防ソイルについて、試験配分や種々の試験も実施されており参考になった。
- ・ ソイルセメント工法の選定フロー、試験結果等、非常にすばらしく、まとめていて参考になった。

##### 砂防事業の広報の中心を担う「白山砂防女性特派員」の活動報告

- ・ 砂防事業の広報については、これまであまり積極的には行ってこなかったため、次年度より小学生を対象としたソフト対策を行うことを考えており、大人を対象としたものとは違うが、今後対象を広げてゆ
- ・ くうえで、一つの参考となった。
- ・ 「白山砂防女性特派員」という試みに興味を持ちました。今後の参考にしたいので引き続き頑張っ
- ・ て経路のみでなく、HP作成などが良い。
- ・ やはり「現場主義」の観点より、現地を知っていただくということは、大変有意義だと感じます。特に女
- ・ 性をターゲットとした点については、新たな広報の広がりが出てくるのではないかと思います。内容も
- ・ 大変盛りだくさんで、充実したものになっているのではないかと感じます。
- ・ 生活者の視点から砂防事業を学ぶために対象を女性としたことや、サークル的な活動で楽しみなが
- ・ ら砂防について学ばれた点など良いアイデアだと思った。特派員からの広がりや、砂防事業への理
- ・ 解や土砂災害の危険性について、市民が理解されることを望む。
- ・ 事業取組みのPR手段。そして、一般の方から見た意見と一連の流れで形成されていくので、よかった
- ・ と思います。県レベルでは砂防に特化せず、一講座として位置づけるのでしょうか。
- ・ 年間を通じて様々な学習会、見学会を行っている点は、互いの理解を深めるために重要であると感じ
- ・ た。(回数も月1回ペースでとても密である)
- ・ 普通の方々が砂防について何を求めているか気になる。砂防とは何か知らない人も多く、我が県で
- ・ は子供を対象とした見学会を行っている。何にしても、第1歩が大切で砂防に興味を持ってもらえれば
- ・ 知識を広めてもらえるのかと感じた。
- ・ ・砂防事業とはどういうものかを理解するために、いい手法であると思う。・キャンプ砂防のようだ。・砂
- ・ 防の理解者を増やすことが、個別事業への理解につながるのかわかる。
- ・ 技術的には上記以外のあと4題は興味のばかりであったが、「砂防事業の必要性を伝える広報」とい
- ・ う点において行うやり方に興味をもった。又、パワーポイントも簡潔で見やすかったし、言われている

##### 流砂量等の時系列把握の試み

- ・ 観測事例の結果の報告が興味深いデータであった。
- ・ ハイドロフォンで流砂量を把握する発想がユニーク。

##### 微地形判読図の砂防事業への活用について

- ・ ハードが一切不要というのは、現在のように一定程整備が進んだ段階での意見だと思いますので、
- ・ 現有施設の計画上の効果も図に盛り込んでいけると、住民の方に施設の大切さ、点検や補修の大切
- ・ さが伝わるのではないかと思います。
- ・ 長野県には「ムダな公共事業に対する」理論に対して頑張ってもらいたい。新聞によると、やはりムダ
- ・ が必要との話しも出て来ているとのニュースを目にした。
- ・ 田中知事の考えが、この発表テーマの基本となっていて、知事の変革に対するやる気を、ここでも感
- ・ 各県にこの様な情報があるのだろうか？
- ・ このような情報を公に出していかななくては、説明責任は果たせないでしょう。

### 3. その他

#### ①砂防研究報告会についてご意見がありましたらお書きください。

- 会の必要性**
- ・三位一体改革の情勢が気になるところですが、このような地方間の情報交換の場は有効な場・情報として活用できるので、今後も継続してほしい。
  - ・とても勉強になり、全国の方々とお会いできるのも、良い機会だと思います。「どれだけ人の命を救いたいか!!この一点に限る!!」今までそういう気持ちで真剣にやっていたか・・・? 今日からでもまだ間に合う!!「さあ、やるぞ」自分なりに!!
  - ・大変参考になり、今後の業務に生かしていきたい。・非常に参考になる。今後も続けて欲しい。
- 会の進行**
- ・砂防調査の紹介は第一日目の分科会開催前に移行した方が、関係のある分科会で議論が深ま
  - ・砂防調査の紹介、15分×5課題については、時間の運営を適正に行ってもらいたかった。発表者も聞いている方も無理があり、聞きづらかった。
- 日程**
- ・木、金曜日で開催して欲しい。
  - ・飛行機の最終時刻を考えて、16:00には終了するプログラムにしていだきたい。(遠隔地のため)
- 参加者**
- ・今回初めて参加させて頂き、大変有意義であったが、直轄事務所の中で誰も参加されていない事務所も認められるようである。せつかくの機会なので、1人は強制的に出席するよう働きかけてもよいのでは? 理由があつて出席出来ないのであれば仕方ないですけど。
  - ・会場の都合があると思うが、同じ分科会でもレベルを分けて議論してもよいのでは? 組織で仕事をしていると、課長クラスが意見を出すと、係長クラスが意見を出し難いといった雰囲気があると考えられるし、同じレベルの集まりになると、意見を出しやすくなると思われる。
  - ・若い人が多く出席する様な内容にして欲しい。
- 講演**
- ・山崎先生のお話は防災に携わるものとしての原点を考えさせられた。新鮮だった。砂防行政関係のみではなく、気象庁、マスコミ、内閣府等、違う切り口から災害を見ている方の意見をお聞きしたい。
  - ・外部講師が良かった。(NHK解説委員) ・特別講演はとても参考になった。
- 分科会**
- ・5つに1つくらい他流試合になるようなテーマを入れてもよいと思う。(保守林、治山事業、河川管理、ダム管理…にあたっている人をお呼びするとか…)
  - ・分科会の時間は適切であると思うが、内容を絞り込んで1回の出席で複数の分科会に参加するということを考えてみても良いかと思います。せつかくの機会なので多くの情報を得たい。
  - ・分科会において、討論方法を工夫して頂くと、いろいろな意見等が、より引き出されたと思います。(第2分科会のブレインストーミング方のような方法をとる等)。
- 分科会の資料**
- ・各分科会で収集、作成した資料についても提供してもらいたい。
  - ・分科会の結果発表はもう少し簡略化して、後日、しっかりとりまとめたものを配布しても良いと思う。慌てて取りまとめたものを、早口で発表されても分からないし、メモも取れない。講評は不要では?
  - ・分科会検討結果について、当日コピー配布してもらいたい。無理なら後日メール送信。
  - ・他の分科会も興味を引くものだったので、分科会でまとめた資料を教えて欲しい。
- 意見交換会**
- ・意見交換会は不要と思う(中途半端である)。

#### ②あなたの所属をお答えください

